

ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser)

ユーザーマニュアル

※本製品は「Stellar Information Technology Pvt.Ltd」の
「BitRaser File Eraser」を改題、一部機能を変更したものです。
また、ヘルプや製品内に、本製品の機能や名称と一部異なる
記述がありますので、あらかじめご了承ください。

1.BitRaser File Eraser について

ハードドライブからデータを削除しても、完全に削除されたわけではなく、再び復元することができます。データの痕跡は、消去または上書きされるまでハードドライブに残るからです。同様に、オペレーティング・システムのコマンドやツールの中には、ファイル構造へのリンクを削除するだけで、永久に消去しないものもいくつかあります。単にデータを削除するだけでは、データのセキュリティやプライバシーを危険にさらす可能性があるため、解決策にはなりません。このような機密性の高い重要なデータを保護するためには、データを効率的に管理し、安全に消去できるツールが必要です。

BitRaser File Eraser は、実績のある上書き技術を備えたソフトウェアであり、削除されたデータの回復を不可能にする高度な機能で開発されています。**BitRaser File Eraser** は、システムの削除されたデータ、不要なファイルやフォルダを安全に消去し、プライバシーも保護します。

このソフトウェアはまた、すべての痕跡を永久に消去する認定データ消去技術を備えています：

- システム使用中に作成
- ウェブブラウザが作成したインターネットの痕跡
- オペレーティングシステムが作成したシステムの痕跡
- システム内に存在するアプリによって作成されたアプリケーションの痕跡。

このユーザーガイドを読めば、ソフトウェア全体に精通することができます。インターネット アクティビティの消去、アプリケーションの痕跡、システムの痕跡、空き領域（削除されたデータ）、ボリューム、ディスク、ファイル & フォルダの消去など、主な機能をステップごとに説明しているため、ソフトウェアを簡単に使用できます。

主な特徴

1. 一度に消去できるファイルやフォルダの名前を含む消去リストを作成するオプション。
2. 空き領域(ハードディスクの空き領域)の消去をサポートし、プライバシーの保護とメモリの最適な使用を実現(FAT、exFAT、NTFS ファイルシステムをサポート)。
3. インストールされたアプリケーションの痕跡とインターネット活動の痕跡の消去をサポートします。
4. プライバシーを保護し、システム速度を向上させるために、システムアクティビティの痕跡の消去をサポートします。
5. 接続されたボリュームの永久消去をサポート。
6. 接続されたブート・ディスクと非ブート・ディスクの永久消去をサポート。
7. 消去タスクをスケジュールし、指定された期間後に自動的に実行することができます。
8. 3種類の消去アルゴリズムを搭載し、**ランダム消去**、**トータル消去の2種類**の消去検証を選択可能。
9. 名前または拡張子を使用して特定のファイルを検索するオプション。
10. 重要なファイルを無視リストに追加するオプションがあり、完全なボリュームの消去中以外のプロセスの実行中にソフトウェアによって削除されることはありません。
11. ソフトウェアのテーマをライトモードまたはダークモードに変更するオプション。
12. 消去を実行するための右クリック機能を提供します。
13. Windows 11、Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Server 2019、Windows Server 2016、Windows Server 2012、Windows Server 2008、Windows Server 2003 に対応。

2.ユーザーガイドについて

このユーザーガイドには、ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) のさまざまな機能を使用するための連続した手順が記載されています。各機能は、対応するトピックで詳細に説明されています。

このガイドでは、以下の主要トピックを取り上げている:

1. BitRaser File Eraser について
2. ユーザーガイドについて
3. はじめに
4. ソフトウェアでの作業
5. よくある質問 (FAQ)
6. 法的通知

このガイドには、ナビゲーションと理解を容易にするための以下の特徴があります:

- このガイドのいくつかのトピックには、よりよく理解し、作業を容易にするための注意とヒントがあります。これらの注釈とヒントはイタリック体で記載されています。

3.はじめに

3.1.インストール手順

3.2.ユーザーインターフェース

3.3.ソフトウェアの注文

3.4.ソフトウェアのアクティベーション

3.1.インストール手順

ソフトウェアをインストールする前に、お使いのシステムが最小システム要件を満たしていることを確認してください：

最小システム要件

- プロセッサーインテル互換(x86、x64)
- オペレーティングシステム Windows 11 / Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Server 2019 / Windows Server 2016 / Windows Server 2012 / Windows Server 2008 / Windows Server 2003

注：Windows 7 または Windows 8 をお使いの場合は、Windows が最新の Microsoft Windows Update に対応していることをご確認ください。

- メモリー：8GB(推奨) 4GB(最小)
- ハードディスク：250MB(インストールファイル用)

ドライブクリーナー EX をインストールする手順

1. ドライブクリーナー EX.exe 実行ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。ドライブクリーナー EX セットアップダイアログボックスが表示されます。
2. [次へ]をクリックします。「使用許諾契約書」ダイアログボックスが表示されます。
3. 「同意する」を選択します。[次へ]ボタンが有効になります。[次へ]をクリックします。「インストール先の指定」ダイアログボックスが表示されます。
4. [参照]をクリックして、セットアップファイルの保存先パスを選択します。[次へ]をクリックします。
5. 「プログラムグループの指定」ダイアログボックスが表示されます。[次へ]をクリックします。
6. 「追加タスクの選択」ダイアログボックスが表示されます。[次へ]をクリックします。

7. 「インストール準備完了」ダイアログボックスが表示されます。[インストール]をクリックします。インストール画面では、インストールプロセスが表示されます。
8. 完了後、「ドライブクリーナー EX セットアップウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。[完了]をクリックします。

注:ソフトウェアが起動しないように、[完了]をクリックする前に「ドライブクリーナー EX を実行する」チェックボックスをオフにします。

3.2.ユーザーインターフェース

ドライブクリーナー EX のメインユーザーインターフェースは以下のとおりです：



ユーザーインターフェースにはタブとボタンがあり、ソフトウェアの様々な機能にアクセスできます。

3.2.1. タブとボタン

タブ



ファイルとフォルダの消去

選択したファイルやフォルダを消去するには、このタブをクリックします。



削除されたデータを消去する

ハードドライブの空き領域を消去するには、このタブをクリックします。



痕跡を消す

インターネット、アプリケーション、システムの痕跡を消去するには、このタブをクリックします。



ボリュームを消去する

選択したボリュームを消去するには、このタブをクリックします。



ディスクの消去

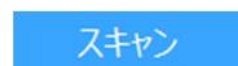
このタブをクリックすると、選択したハードドライブがコンピューターから消去されます。



スケジューラー

このタブをクリックすると、ファイルおよびフォルダ、痕跡、またはボリュームをスキャンして消去するタスクをスケジュールできます。

ボタン



スキャン

このボタンをクリックするとスキャンが開始されます。

消去

消去

このボタンをクリックすると、消去処理が開始されます。

項目追加

項目追加

このボタンをクリックすると、必要なファイルが消去リストに追加されます。

検索と消去

検索と消去

このボタンをクリックすると、コンピューター上の指定したファイルを検索して消去します。

リセット

リセット

このボタンをクリックすると、フィールドが再度リセットされます。



設定

ソフトウェアの設定を変更するには、このボタンをクリックします。



ソフトウェアについて

このボタンをクリックすると、ソフトウェアの詳細情報が表示されます。



ヘルプ


ドライブクリーナー EX のヘルプマニュアルを開くには、このボタンをクリックしてください。



今すぐ購入

ソフトウェアを購入するには、このボタンをクリックしてください。

3.3.ソフトウェアの注文

- BitRaser File Eraser の詳細については、[ここ](#)をクリックしてください。
- オンラインでソフトウェアを購入するには、[ここ](#)をクリックしてください。
- または、メニューバーの**今すぐ購入アイコン**()をクリックして、ソフトウェアをオンラインで購入することもできます。
- 上記のいずれかの方法を選択し、ソフトウェアをご購入ください。
- 注文が確認されると、ソフトウェアをアクティベートするために必要な**アクティベーションキー**が電子メールで送信されます。

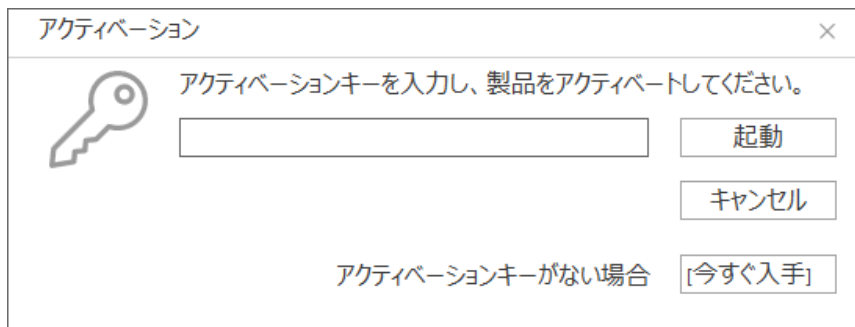
3.4.ソフトウェアのアクティベーション

アクティベーション・サービスを利用して、ドライブクリーナー EX をアクティベートしてください。ソフトウェアを購入後、電子メールで受け取ったアクティベーションキーを適用し、以下の手順でアクティベーションを行います。

注: インターネット接続が有効であることを確認してください。

ソフトウェアをアクティベートする手順

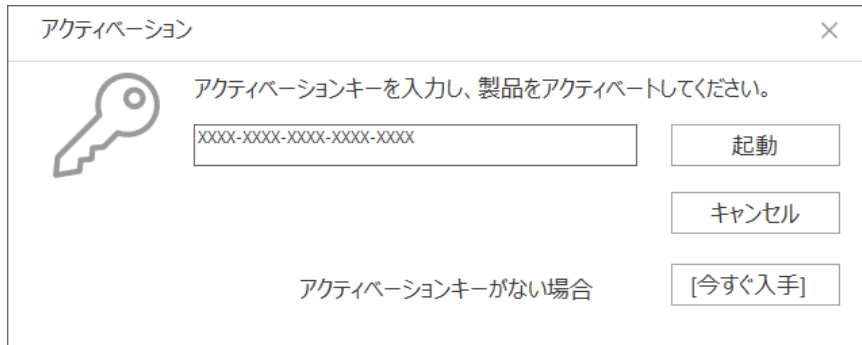
1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. 下図のようなウィンドウが画面にポップアップ表示される。



注:

- アクティベーションキーをお持ちでない場合は、ウィンドウ内の【今すぐ入手】ボタンをクリックし、オンラインで製品をご購入ください。
- 注文が確認されると、アクティベーションキーが提供されます。

3. アクティベーションキーを入力し、【起動】ボタンをクリックします。



4. 入力したアクティベーションキーの認証に成功すると、ソフトウェアがアクティベートされます。
5. プロセスが正常に完了すると、「ドライブクリーナー EX は正常に起動しました。」というメッセージが表示されます。[OK]をクリックすると、アクティベーション後にロックが解除されたソフトウェアのすべてのオプションが使用できるようになります。

ソフトウェアのアクティベーション中にエラーが表示された場合は、以下の手順に従って問題を解決してください：

1.インストーラーを確認し、アクティベーションキーを再入力します。

正しいインストーラーをダウンロードしたことを確認してください。電子メールに記載されているダウンロードリンクを使用するか、目的の製品ページにアクセスしてソフトウェアを無料でダウンロードし、電子メールに記載されているキーを使用してアクティベートします。

2.他のすべてのバージョンをアンインストールします。

以前にインストールしたソフトウェアをアンインストールします。その後、ご希望のバージョンのソフトウェアを再インストールし、アクティベーションを行ってください。

3.正しいアクティベーションキーを空白を入れずに再入力します。

アクティベーションキーをコピー＆ペーストしてもうまくいかない場合は、手動で入力してみてください。コピー中に空白をコピーしてしまい、ソフトウェアのアクティベーションに失敗することがあります。

手動でキーを入力すれば、この問題は解決します。または、電子メールからメモ帳にキーをコピーし、キーの先頭と末尾の空白を削除することもできます。その後、キーをコピーしてソフトウェアのアクティベーションウィンドウに貼り付けます。

4.ソフトウェアを使用する

4.1.ファイルとフォルダの消去

4.2.削除されたデータを消去する

4.3.インターネット活動、アプリケーション、システムの痕跡を消す

4.4.ボリュームを消去する

4.5.ディスクの消去

4.6.スケジューラーの設定

4.7.設定の構成

4.1.ファイルとフォルダの消去

ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) は、選択したファイルとフォルダをシステムから直接永久に消去するオプションを提供します。

ファイルとフォルダを消去するには

1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. 画面左ペインに表示されている「オプションの選択」タブから「ファイルとフォルダの消去」を選択します。



3. ファイル/フォルダを選択して消去リストに追加するには、3つの方法があります：
 - i. **ドラッグ & ドロップ**
 - a. システムからフォルダをドラッグし、ボックスにドロップします。
 - ii. **項目追加ボタンの使用**

- a. 画面右下のペインから「項目追加」ボタンをクリックします。
- b. 次に表示される「ファイルまたはフォルダの選択」ダイアログから 消去リストに追加するファイルまたはフォルダを選択し、[OK] をクリックします。

iii. 検索と消去

- a. 特定のファイルを検索して消去するには、「検索と消去」オプションをクリックします。

検索と消去

ファイル名:

ファイル場所: 参照

検索

- b. ファイル名を覚えていない場合は、ファイル名を入力するか、.jpg、.png などの拡張子でファイルを検索できます。

検索と消去

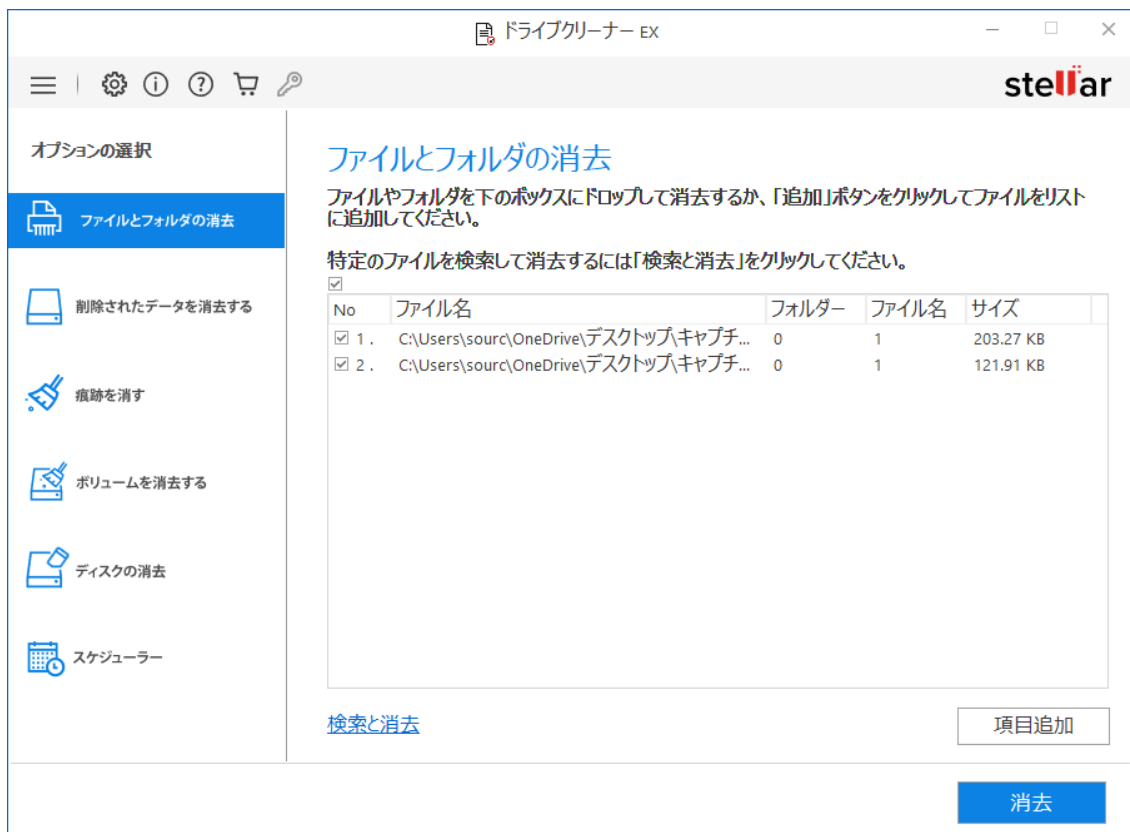
ファイル名:

ファイル場所: 参照

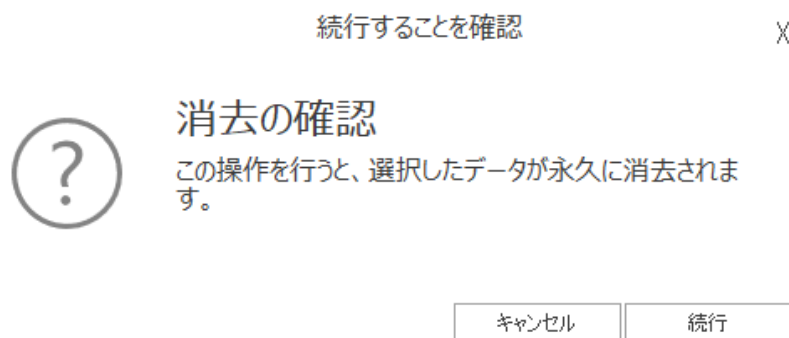
検索

- c. 場所がわかっている場合は[参照]をクリックし、ファイルまたはフォルダを選択します。
 - d. 【検索】をクリックして検索プロセスを開始し、ファイルを消去リストに追加します。
4. 消去リストにファイル/フォルダを追加したら、[消去]をクリックして消去プロセスを開始します。

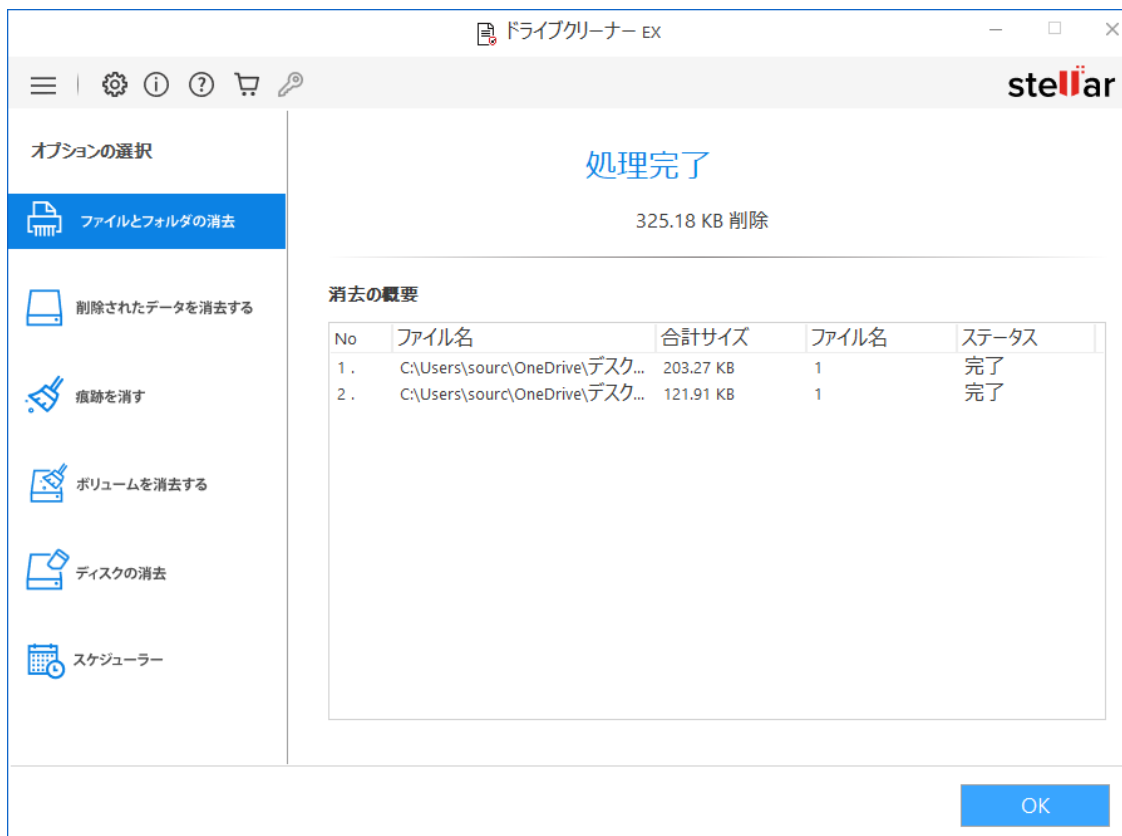
注: リストで、消去したいファイルやフォルダのチェックを入れたり外したりします。



5. 選択したデータを完全に消去するかどうかを確認するダイアログ ボックスが表示されます。[続行] をクリックして続行します。



6. 消去処理が完了すると、**処理完了**ウィンドウに削除されたファイルの**消去の概要**が表示されます。



7. [OK]をクリックして処理を終了します。

4.2. 削除されたデータを消去する

削除されたデータの消去とは、削除されたファイルやデータの断片を含むシステムの空き領域をクリーンアップすることです。ハードドライブからデータを削除しても、完全に削除されたわけではなく、再び復元することができます。それは、データの痕跡は、それらが消去または上書きされるまで、ハードドライブ上に残っているためです。復元可能なほど削除されたデータを完全に消去するには、「**削除されたデータを消去する**」オプションを使用します。

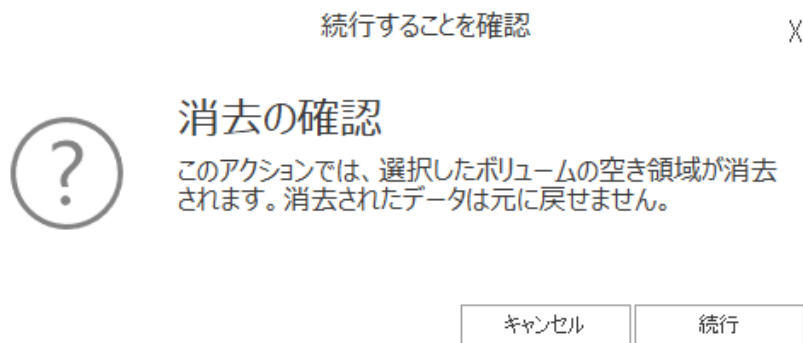
削除されたデータを消去するには

1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. 画面の左ペインに表示されている「オプションの選択」タブから「**削除されたデータを消去する**」を選択します。接続されているすべてのドライブの空き容量が以下のように表示されます：



3. 削除されたデータの消去プロセスを開始するシステムボリュームを選択します。

4. **【消去】** ボタンをクリックして、消去処理を開始します。
5. 選択したデータを完全に消去するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。**【続行】** をクリックして続行します。



6. 消去処理が完了すると、**処理完了** ウィンドウに削除されたファイルの**消去の概要**が表示されます。



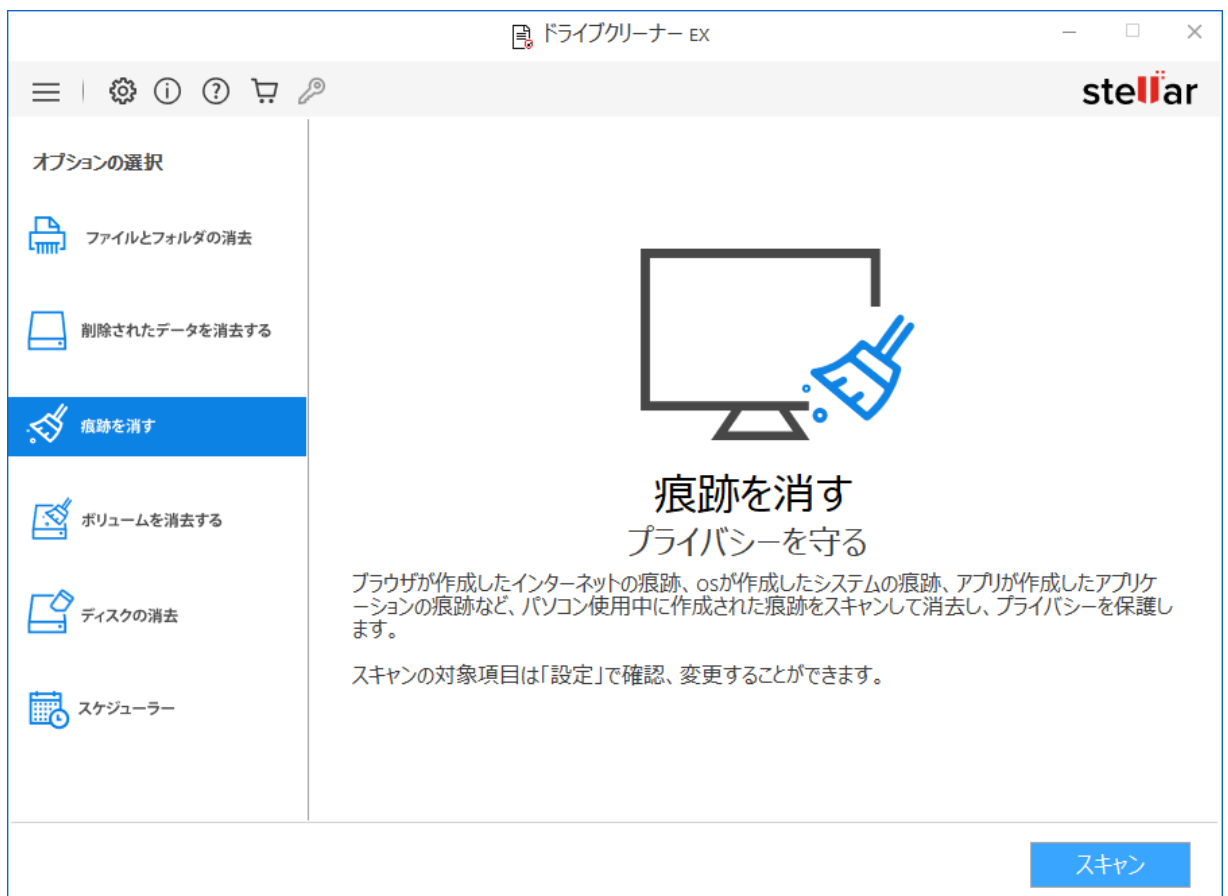
7. **【OK】**をクリックして処理を終了します。

4.3.インターネット活動、アプリケーション、システムの痕跡を消す

ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) は、システム内で発見されたすべてのデータ痕跡を消去するオプションを提供します。データ痕跡には、システムの使用中に作成された痕跡、ウェブブラウザによって作成されたインターネットの痕跡、オペレーティングシステムによって作成されたシステムの痕跡、およびアプリケーションによって作成されたアプリケーションの痕跡が含まれます。このオプションは、システムをスキャンして痕跡をリストアップします。

痕跡を消す：

1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. 画面左ペインに表示されている「オプションの選択」タブから「痕跡を消す」を選択します。



3. 痕跡を消す場合、アプリケーションはデフォルトのスキャン設定を使用します。保存されたスキャン設定を

変更するには、メニューバーから[設定]  をクリックし、所定の手順に従ってください:

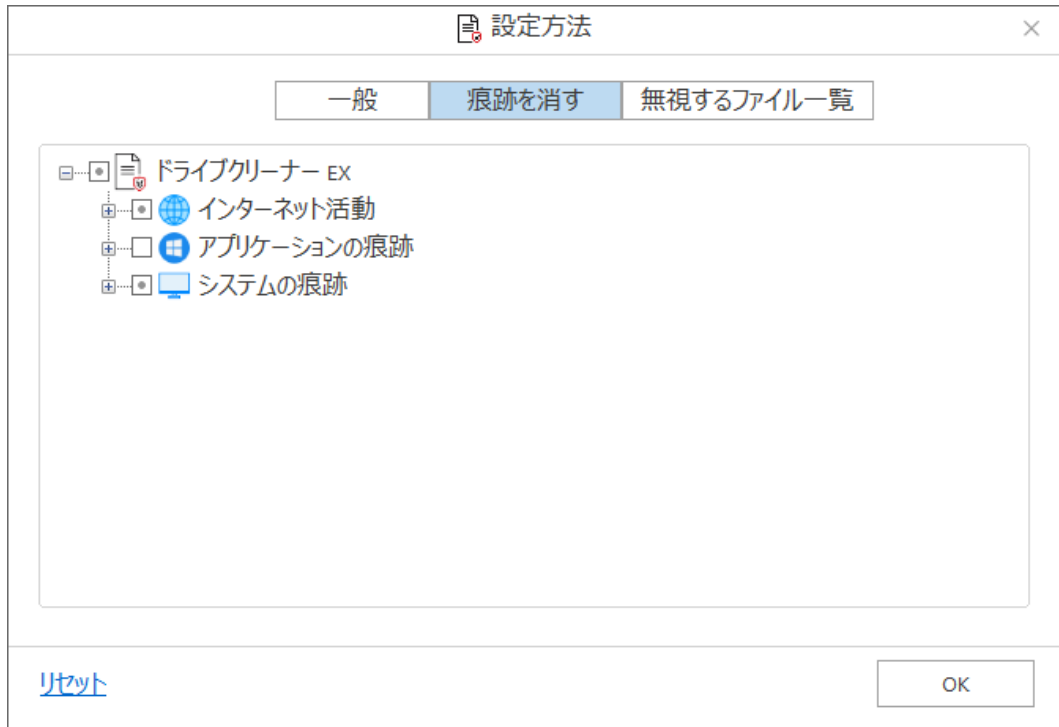
設定方法 ×

一般 痕跡を消す 無視するファイル一覧

テーマ	ライト ▾
言語設定	日本語 ▾
消去オプション	
アルゴリズム	ゼロ年代 ▾
検証	検証なし ▾

[リセット](#)OK

- a. 中央の**痕跡を消す**タブをクリックします。

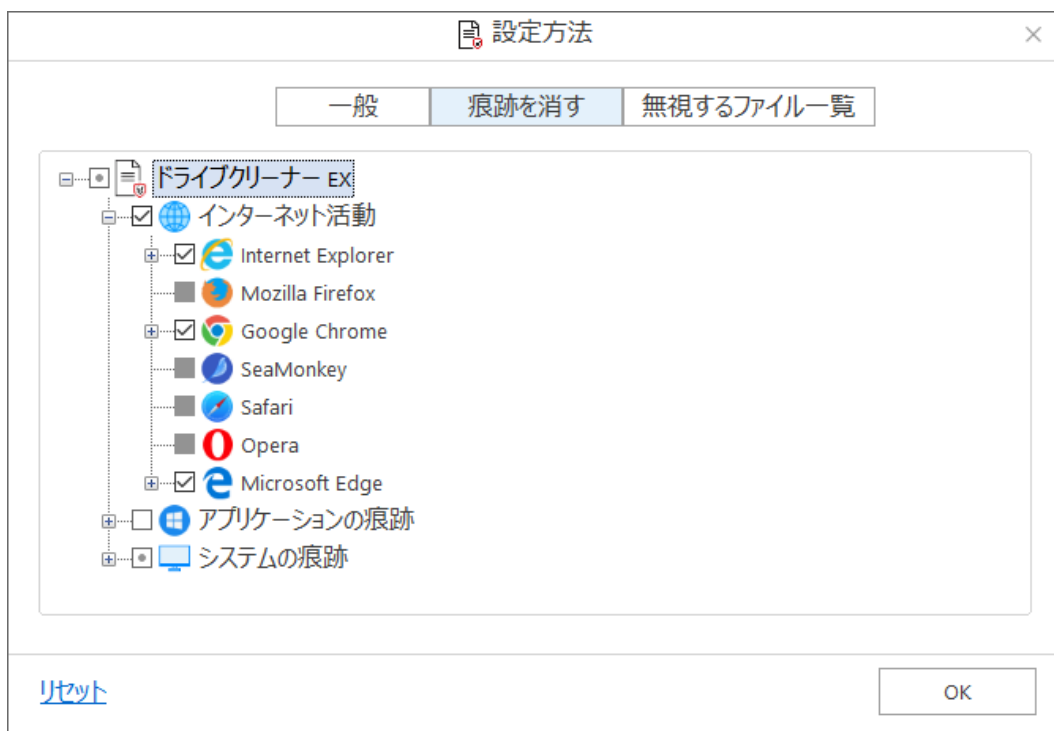


b. ドライブクリーナー EX は、痕跡を消去するための 3 つの異なるオプションを提供します：

- i. インターネット活動の痕跡を消す
- ii. アプリケーションの痕跡を消す
- iii. システムの痕跡を消す

これらのオプションの詳細については、このユーザーマニュアルの「痕跡を消す設定」のセクションを参照してください。

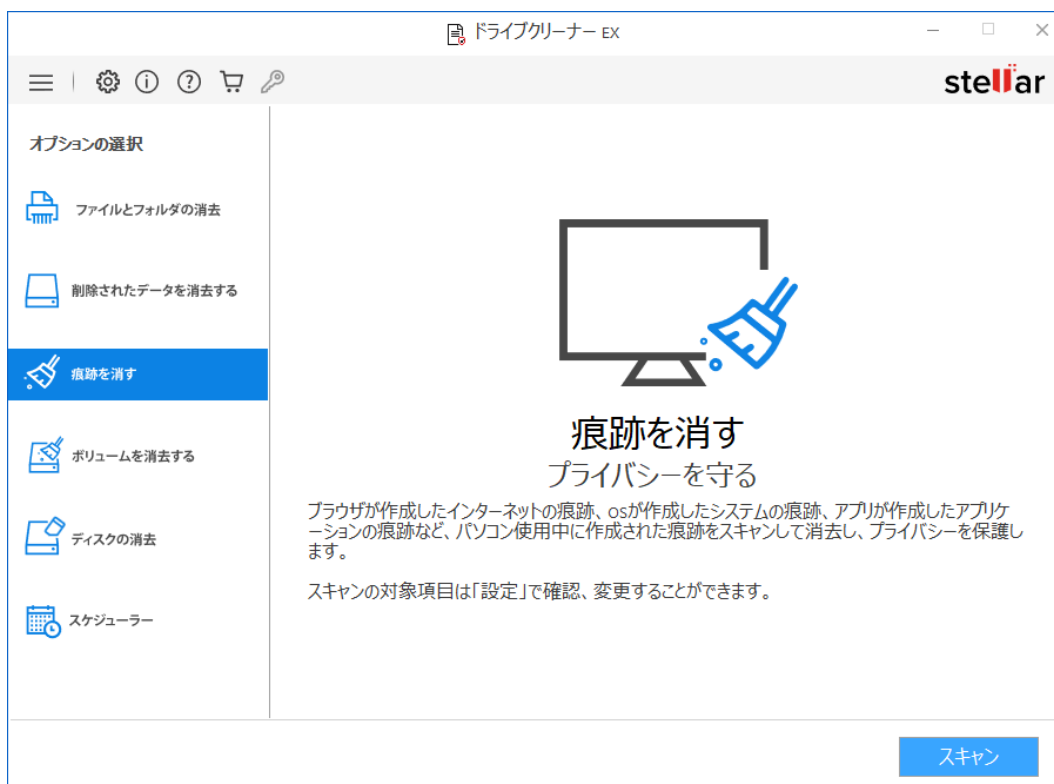
c. (+)をクリックするか、オプションをダブルクリックして展開します。



- d. 痕跡をスキャンするサブカテゴリにチェックを入れます。必要なオプションのチェックボックスを選択すると、そのオプションのすべてのサブカテゴリが選択されます。

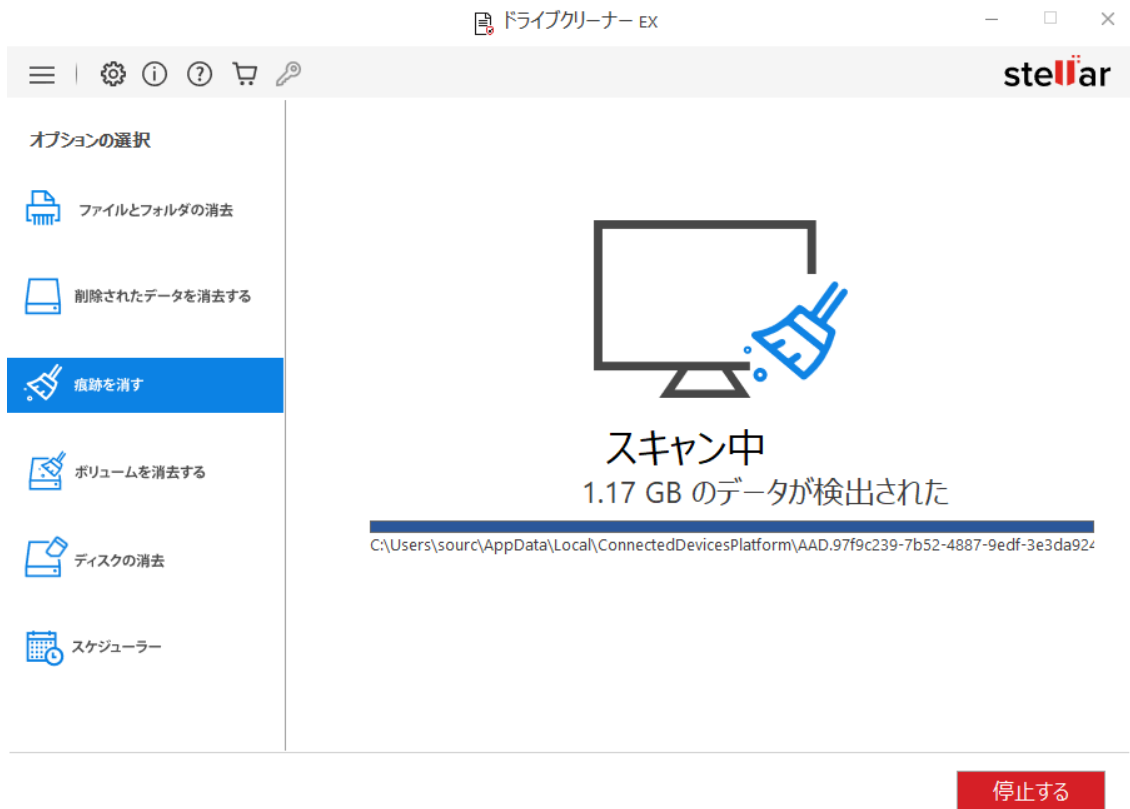
注:「リセット」をクリックすると、すべての設定がデフォルトになります。

- e. [OK]をクリックします。ソフトウェアが**痕跡を消す**画面に戻ります。



4. スキャンをクリックして、スキャン処理を開始します。

注意: スキャン処理を開始する前に、実行中のアプリケーションをすべて終了していることを確認してください。

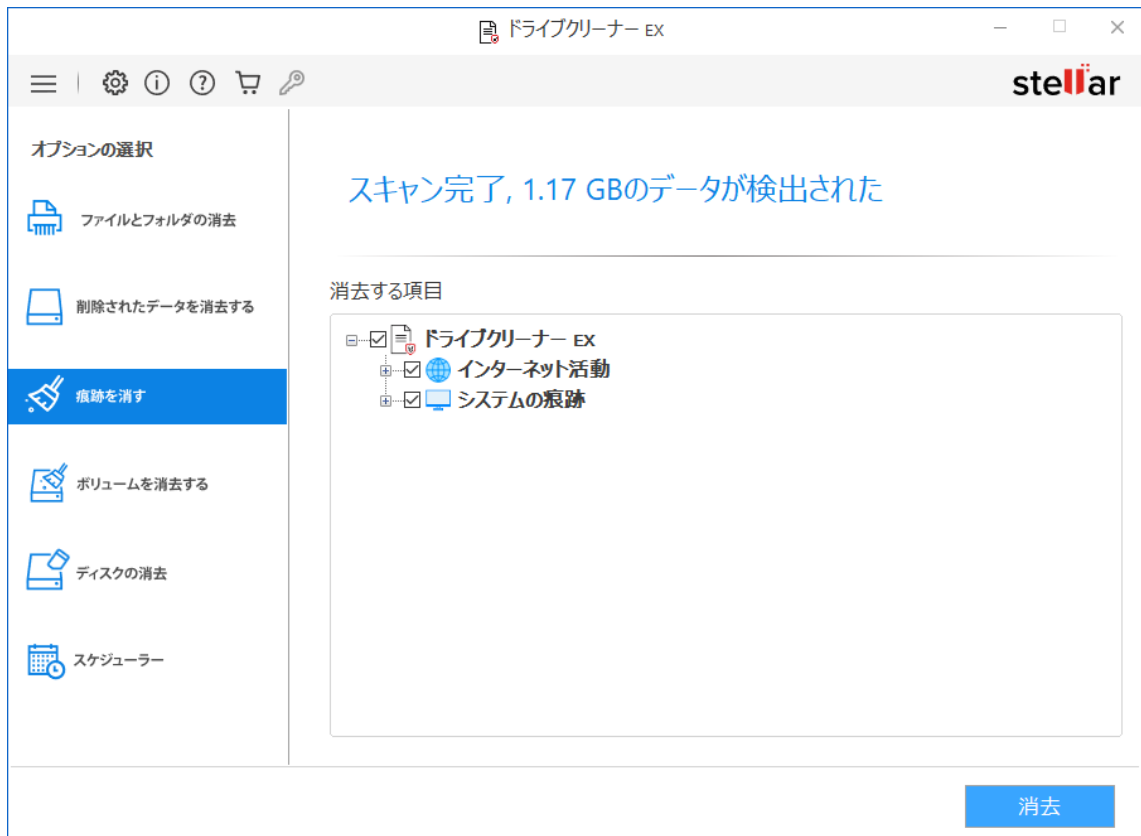


5. スキャン完了ダイアログボックスが表示され、スキャンされたデータの結果が表示されます。

注意: スキャン設定を変更したい場合は、「ここをクリック」をクリックしてください。



6. **[OK]**をクリックします。消去可能なスキャン項目のリストが表示されます。



7. (+)をクリックするか、オプションをダブルクリックして展開します。
8. 消去したいサブカテゴリにチェックを入れます。必要なオプションのチェックボックスを選択すると、そのオプションのすべてのサブカテゴリが選択されます。
9. 画面右下の【消去】をクリックすると、消去処理が開始されます。
10. 選択したデータを完全に消去するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

【続行】をクリックして続行します。

続行することを確認

X



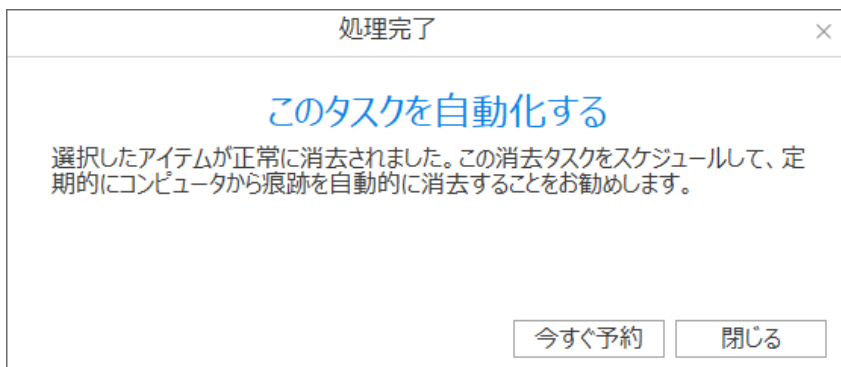
消去の確認

このアクションは選択したデータを完全に消去します。進めますか？

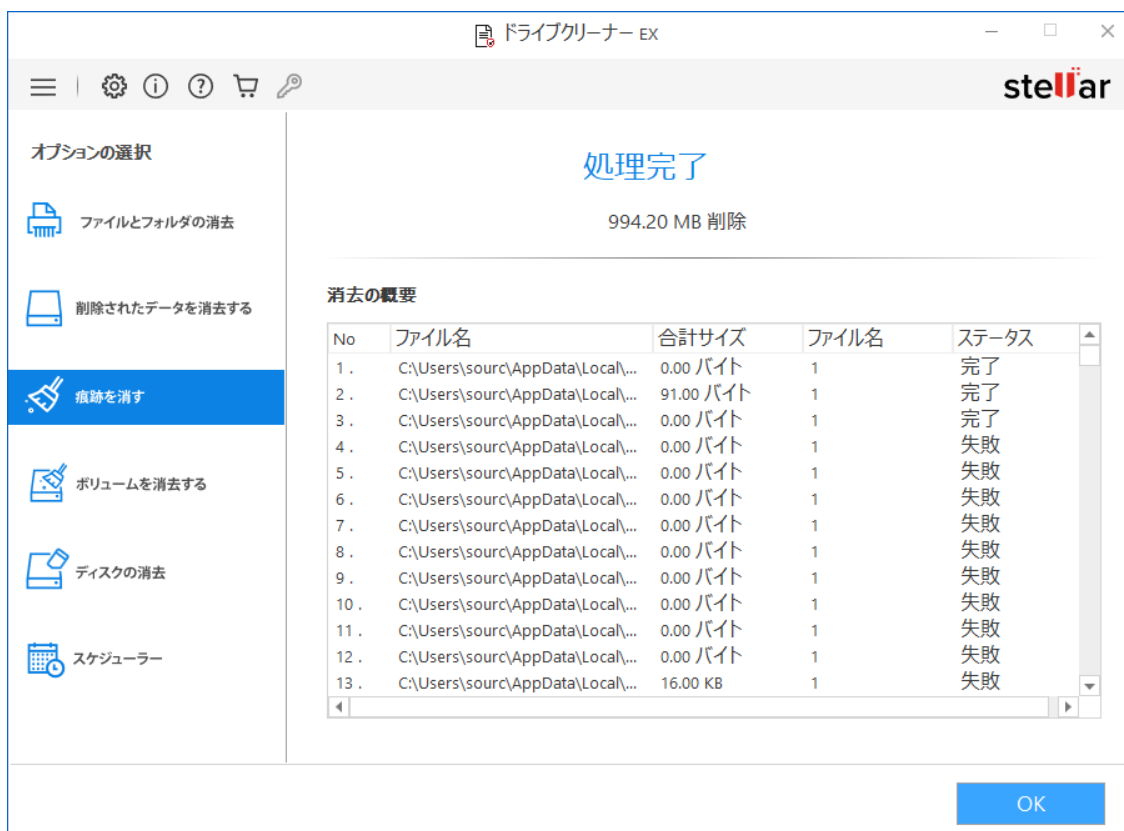
キャンセル

続行

11. 消去処理が完了すると、「このタスクを自動化する」ダイアログが表示される場合があります。予約不要であれば[閉じる]をクリックします。



12. **処理完了**ウィンドウに削除されたファイルの**消去の概要**が表示されます。



13. [OK]をクリックして処理を終了します。

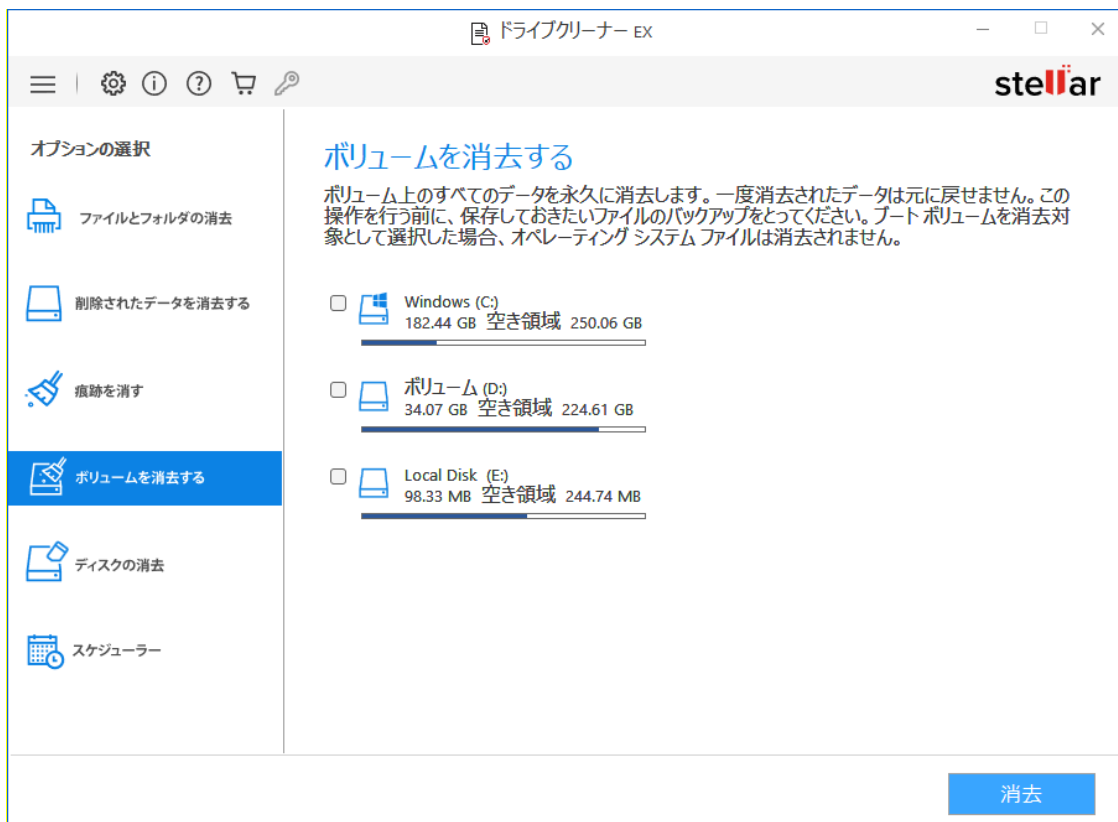
4.4.ボリュームを消去する

ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) には、ボリューム上のすべてのデータを永久に消去するオプションがあります。データが消去された後、再び復元することはできません。続行する前に、保存したいファイルのバックアップを作成してください。

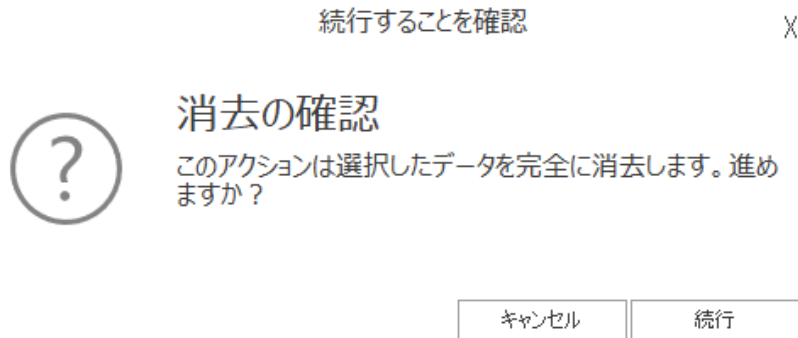
注: ブートボリュームを消去する場合、**ボリュームを消去する** オプションはダウンロードファイル、デスクトップファイルなどのファイルとフォルダのみを消去します。オペレーティングシステムのデータファイル、プログラムファイル、アプリケーションなどのファイルやフォルダは消去されません。

ボリュームを消去する

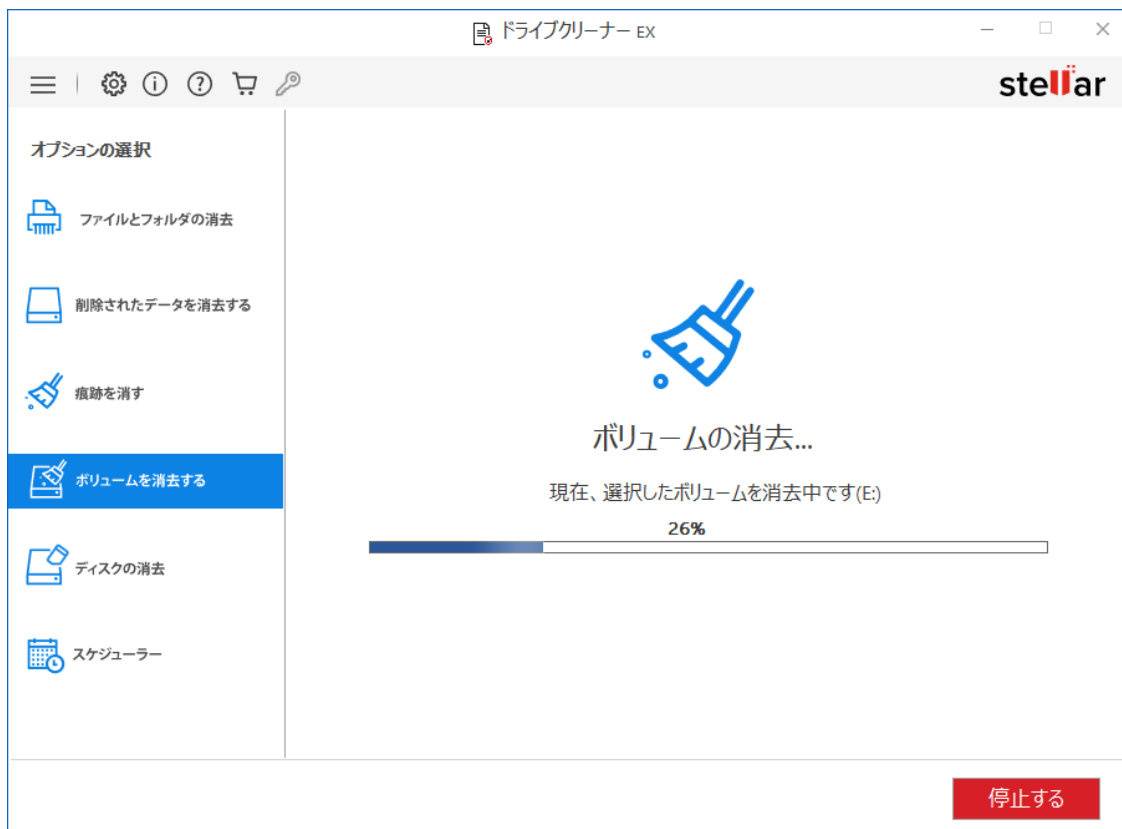
1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. 画面の左ペインに表示されている「オプションの選択」タブから「ボリュームを消去する」を選択します。システムのすべての接続ボリュームが以下のように表示されます:



3. 消去するボリュームのチェックボックスを選択します。
4. **【消去】** ボタンをクリックして、消去プロセスを開始します。
5. 選択したボリューム データを完全に消去するかどうかを確認するための**消去の確認**ダイアログボックスが表示されます。続行するには**【続行】** をクリックします。



6. **ボリュームを消去する**処理が開始され、必要に応じて**【停止する】** ボタンをクリックして消去処理を終了できます。



7. 消去処理が完了すると、**処理完了**ウィンドウに削除されたファイルの**消去の概要**が表示されます。



8. [OK]をクリックして処理を終了します。

4.5. ディスクの消去

ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) は、起動ディスクまたは非起動ディスクにかかわらず、ハードドライブ上のすべてのデータを永久に消去するオプションがあります。データが消去された後、再び復元することはできません。続行する前に、保存したいファイルのバックアップを作成してください。

- 非ブートディスクを消去するには
- ブートディスクを消去するには

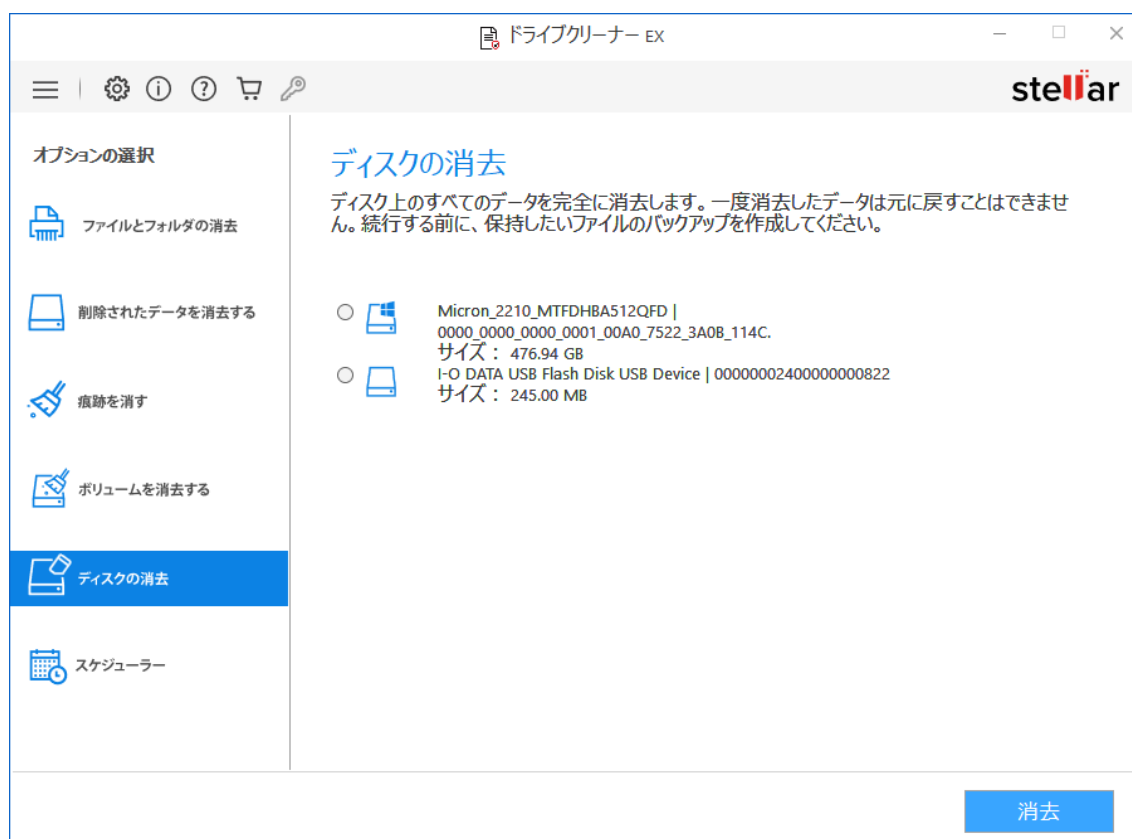
注:ブートディスクからデータを消去するには、ブータブルメディアを作成するための **USB ドライブ** が必要です。

4.5.1.非ブートディスクの消去


ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) は、ハードドライブ上のすべてのデータを永久に消去します。消去プロセスを開始する前に、保持したいファイルのバックアップが必要です。

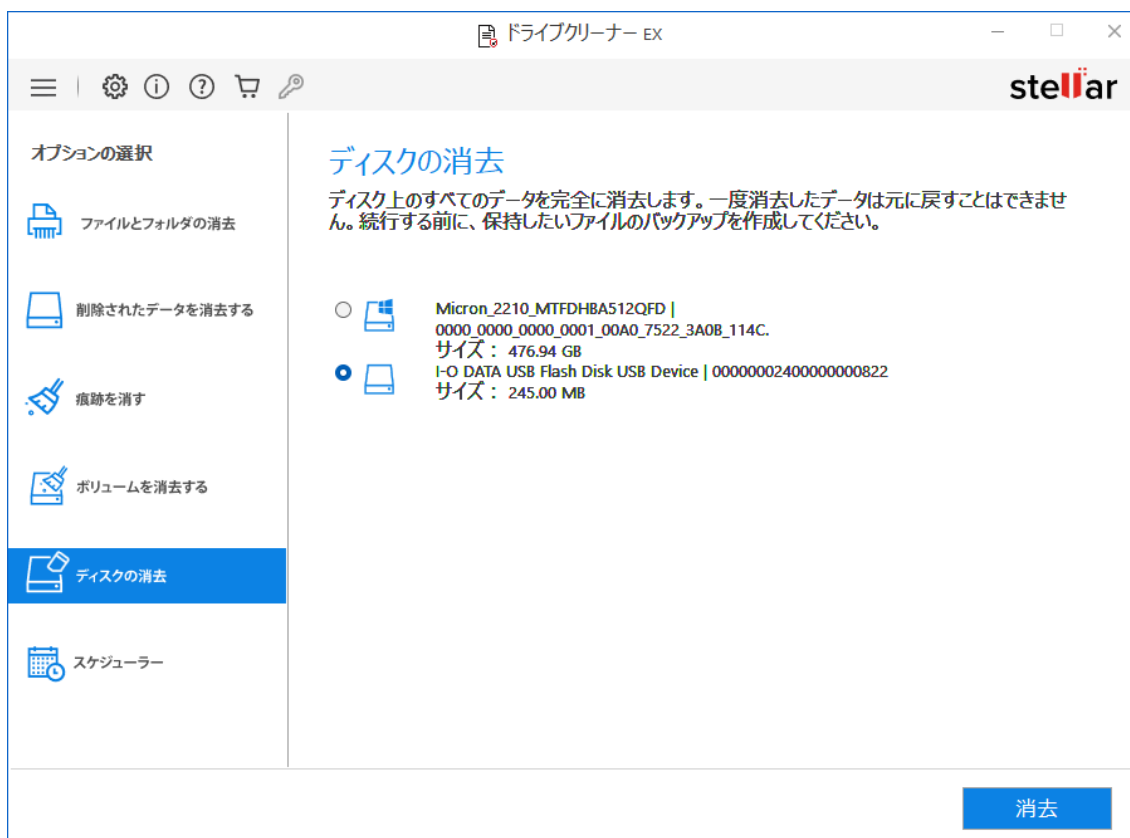
ディスクの消去:

1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. 画面の左ペインに表示されている「オプションの選択」タブから「ディスクの消去」を選択します。下図のように、システムに接続されているすべてのディスクが表示されます:

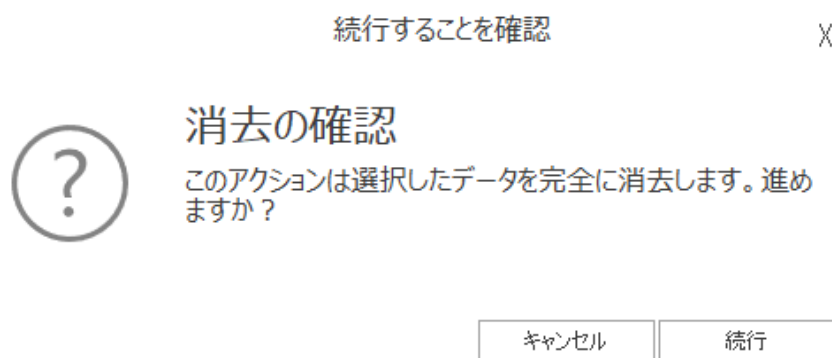


3. 消去するハードドライブのチェックボックスを選択します。

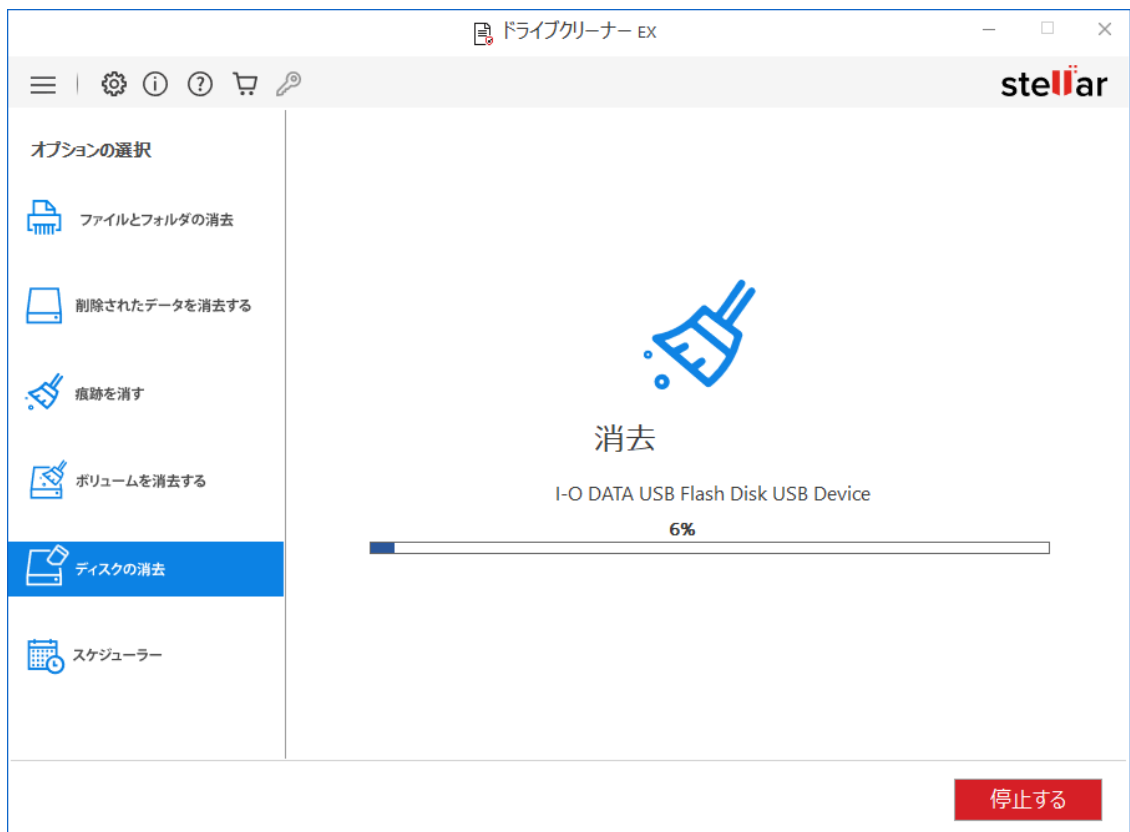
注: ディスク上の **Windows アイコン**  はブートディスクを示します。ブートディスクを消去するには、「ブートディスクの消去」セクションを参照してください。



4. **【消去】** ボタンをクリックして、消去プロセスを開始します。
5. 選択したデータを完全に消去するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。**【続行】** をクリックして続行します。



6. **ディスクの消去処理**が開始されたら、必要に応じて**【停止する】** ボタンをクリックして消去処理を終了できます。



7. 消去が完了すると、処理完了ウィンドウに消去されたディスクの **消去の概要**が表示されます。



8. [OK]をクリックして処理を終了します。

4.5.2.ブートディスクの消去

ブートディスクには現在コンピューターで稼働しているオペレーティングシステムが含まれており、このオペレーティングシステムは使用中に消去することはできません。したがって、まず別のソースからコンピューターを起動できるブートメディアを作成する必要があります。ブータブルメディアから **ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser)** ソフトウェアを実行することで、ブートディスクを消去するために使用できる別のオペレーティングシステムまたはユーティリティを含む独立した環境を作成できます。**ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser)** ソフトウェアから、USBサムドライブを使用してブータブルメディアを作成できます。また、ブータブルイメージファイル (ISO) を作成し、USBドライブまたは CD/DVD に書き込むこともできます。ブータブルメディアを作成したら、ターゲットコンピューターを起動し、ブートディスクを消去することができます。

- **ブータブルメディアを作成する**
- **ドライブクリーナー EX を起動して実行するには**
- **ブートディスクを消去するには**

ブータブルメディアを作成する:

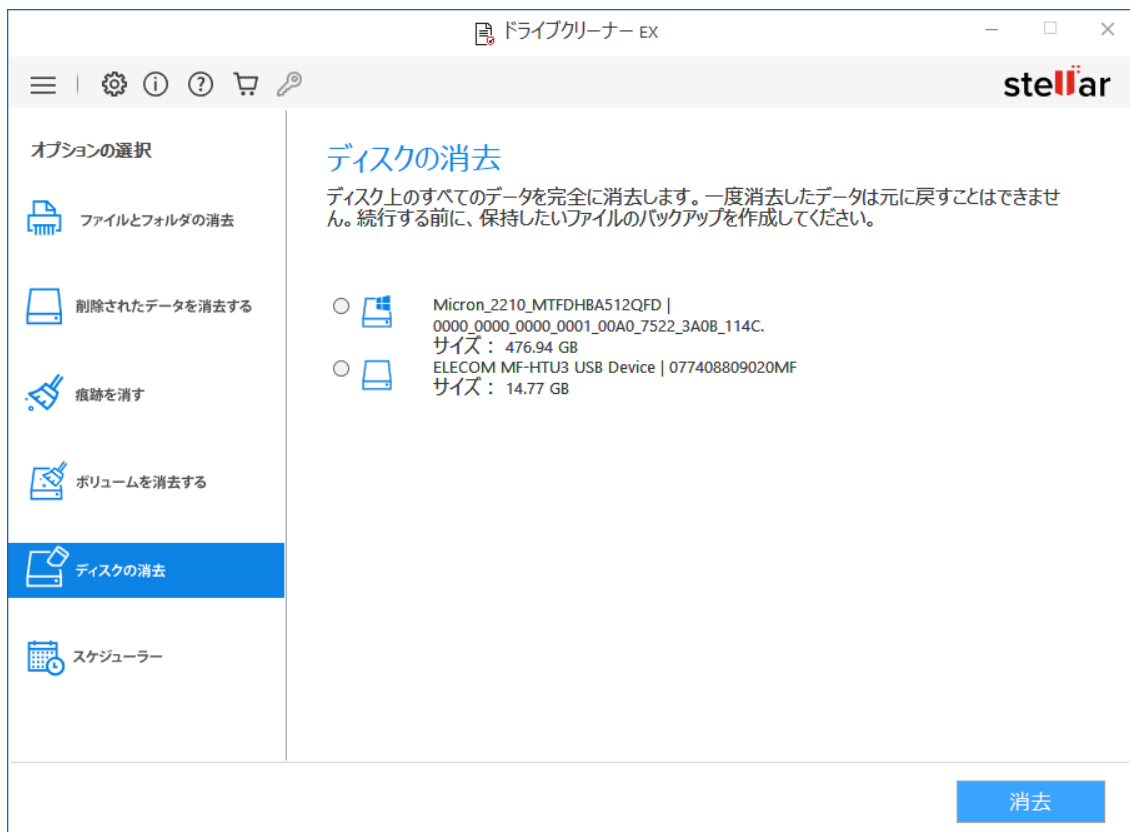
以下のオプションを使ってブータブルメディアを作成できる:

- **USB メモリ**(最低 4GB)
- **ブートイメージファイル (ISO)**

USB サムドライブオプションを使用してブータブルメディアを作成する手順:

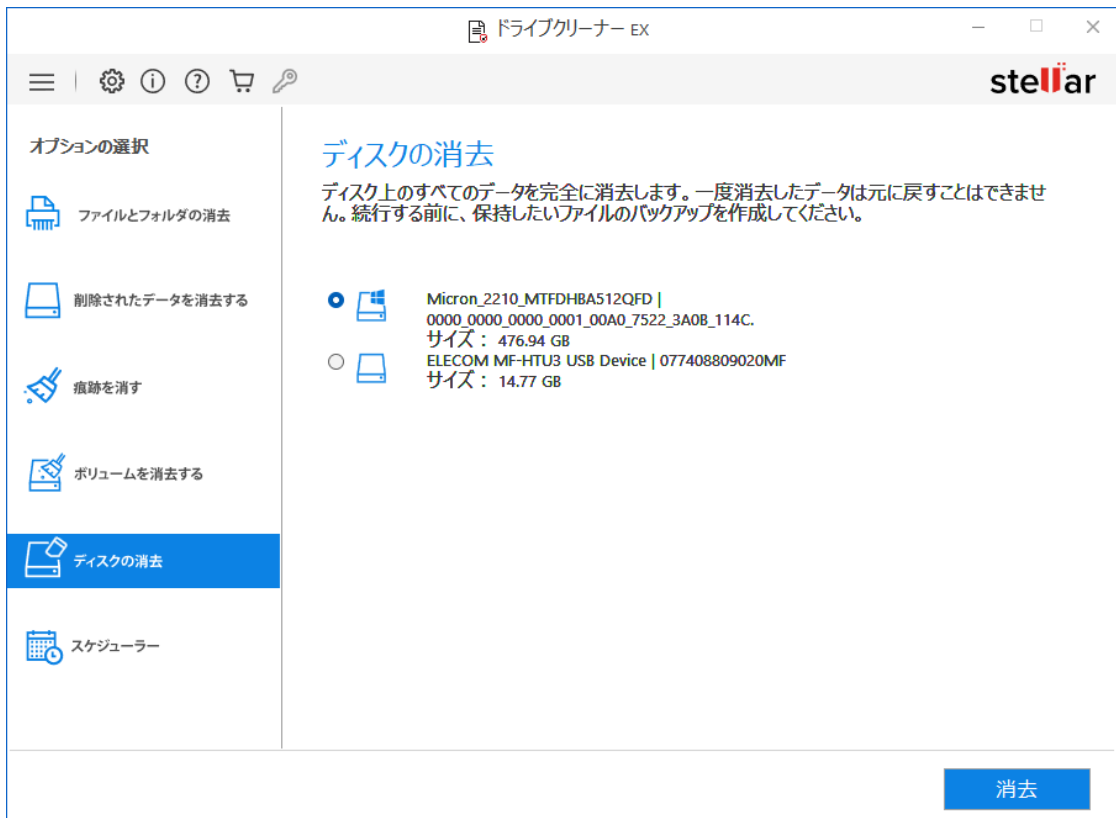
ブータブルメディアを作成するには、USB ドライブをコンピューターに接続する必要があります。

1. **USB ドライブ**をコンピューターに接続します。
2. **ドライブクリーナー EX** を実行します。
3. 画面の左ペインに表示されている「**オプションの選択**」タブから「**ディスクの消去**」を選択します。下図のように、システムに接続されているすべてのディスクが表示されます:

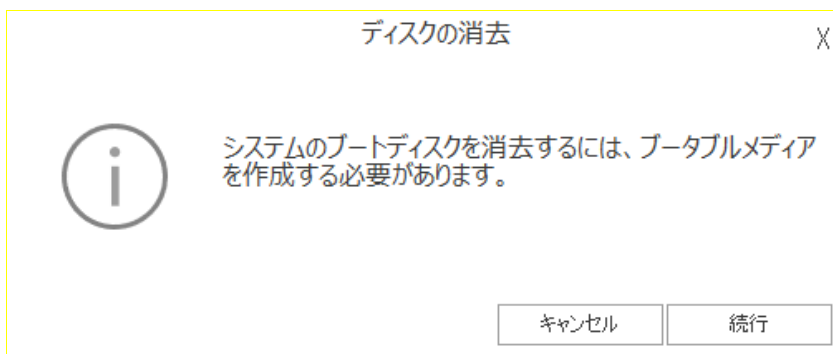


4. 消去するブートディスクのチェックボックスを選択し、「消去」ボタンをクリックします。

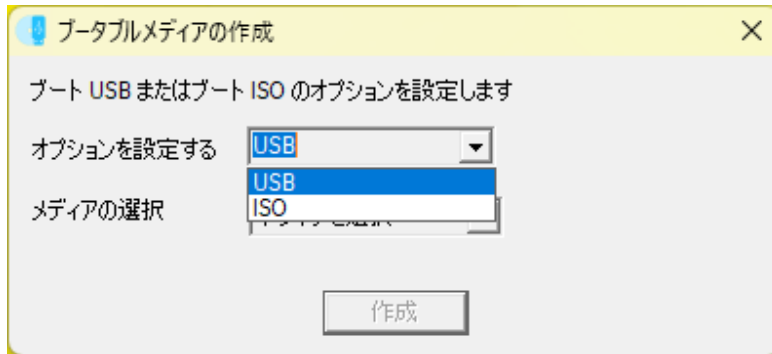
注: ディスク上の **Windows アイコン**  はブートディスクを示します。



5. **ディスクの消去** ダイアログボックスが表示され、ブートディスクを消去するためのブータブルメディアを作成します。続行するには、**[続行]**をクリックします。



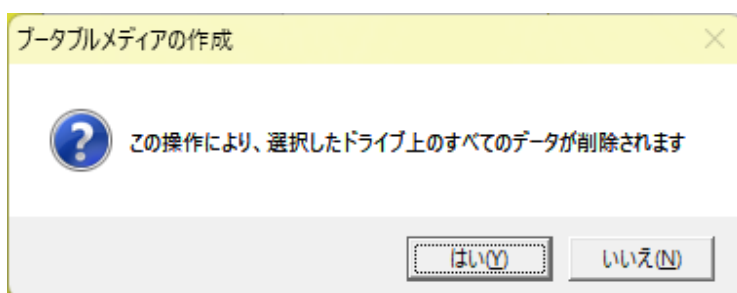
6. 次に表示される「ブータブルメディアの作成」ウィンドウの「オプションを設定する」のドロップダウンリストから「USB」を選択します。



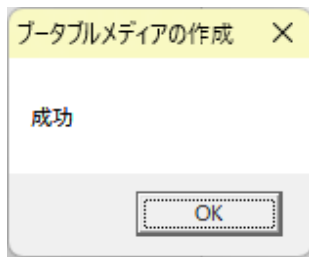
7. 「**メディアの選択**」のドロップダウンリストから、ブータブルメディアとして作成したい USB ドライブを選択し、**[作成]**をクリックします。



8. 「この操作により、**選択したドライブ上のすべてのデータが削除されます**」という確認メッセージが表示されます。**[はい]**をクリックして処理を開始します。



9. 処理が完了すると「**成功**」というメッセージが表示されます。**[OK]**をクリックしてメッセージダイアログを閉じます。

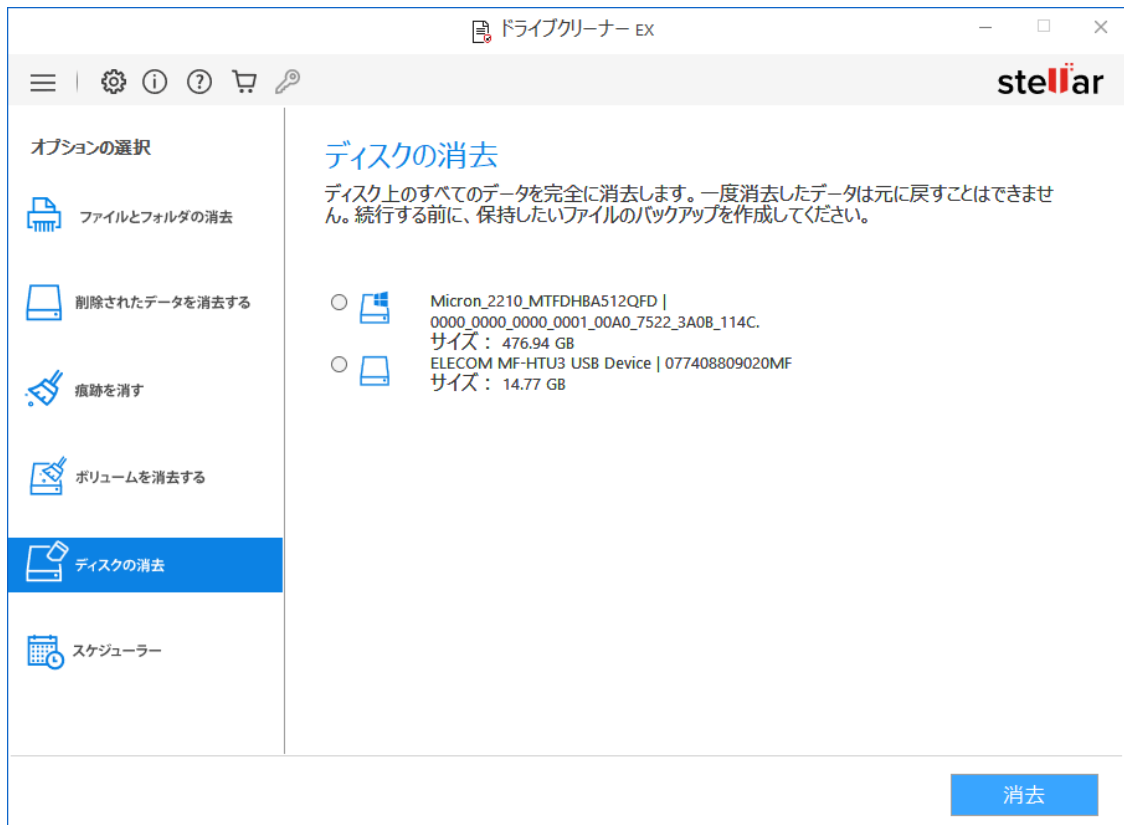


ブートイメージファイル(ISO)オプションを使用してブータブルメディアを作成する手順:

注:まず、ブートイメージファイル(ISO)を作成し、ISO ファイルを USB ドライブまたは CD/DVD に書き込む必要があります。

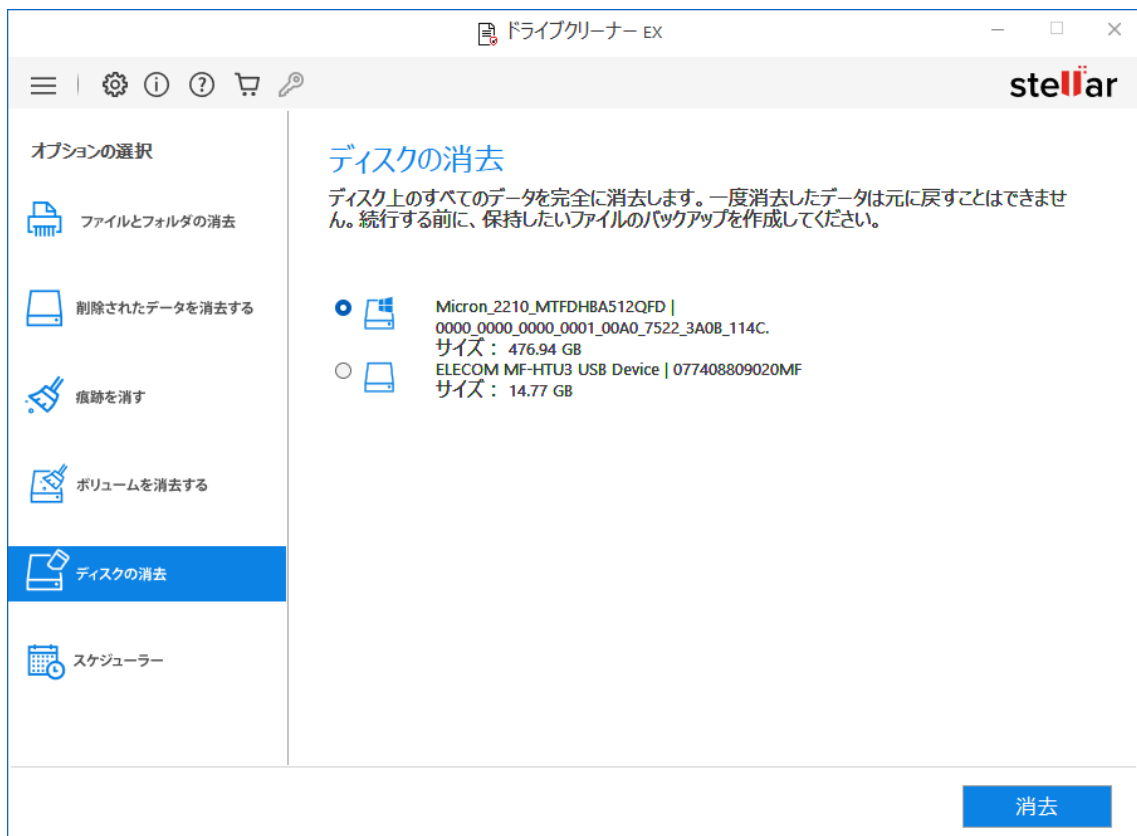
注:ブートメディアを準備するために ISO ファイルを書き込む USB ドライブまたは CD/DVD が必要です。

1. **USB デバイス**または **CD/DVD** をコンピューターに接続します。
2. **ドライブクリーナー EX** を実行します。
3. 画面の左ペインに表示されている「**オプションの選択**」タブから「**ディスクの消去**」を選択します。下図のように、システムに接続されているすべてのディスクが表示されます:

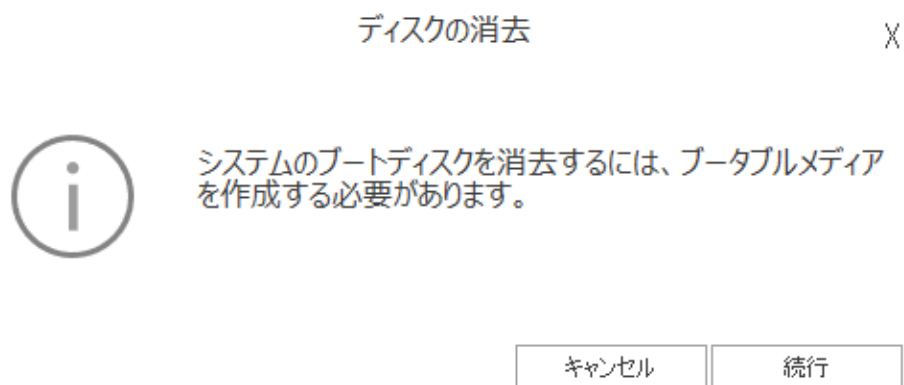


4. 消去するブートディスクのチェックボックスを選択し、「消去」ボタンをクリックします。

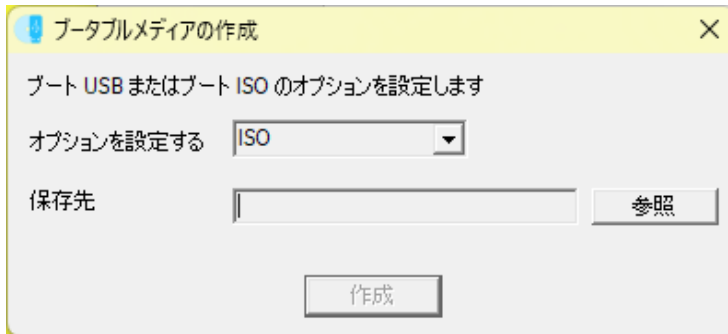
注: ディスク上の **Windows アイコン**  はブートディスクを示します。



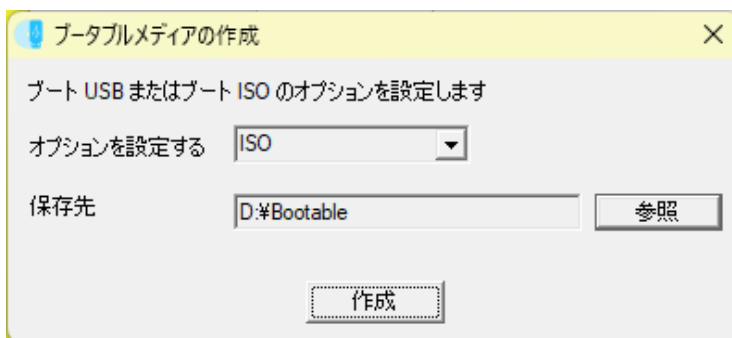
5. **ディスクの消去**ダイアログボックスが表示され、ブートディスクを消去するためのブータブルメディアを作成します。続行するには、**[続行]**をクリックします。



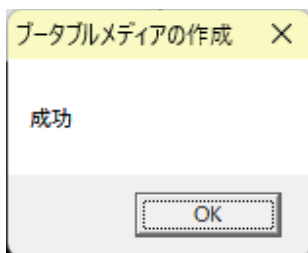
6. 次に表示される**ブータブルメディアの作成**ウィンドウの「**オプションを設定する**」のドロップダウンリストから**ISO**を選択します。



7. **【参照】**をクリックし、ブートイメージファイル(ISO)の保存先パスを選択し、**【OK】**をクリックします。



8. **【作成】**をクリックします。コマンドプロンプトのウィンドウが表示されるので、実行させてコマンドを実行します。
9. 処理が完了すると**「成功」**というメッセージが表示されます。**【OK】**をクリックしてメッセージダイアログを閉じます。



10. この ISO ファイルを使用して、ブート可能な USB ドライブまたは CD/DVD を作成します(ブート可能なメディアを作成するには、Rufus などのサードパーティ製ソフトウェアを使用します)。

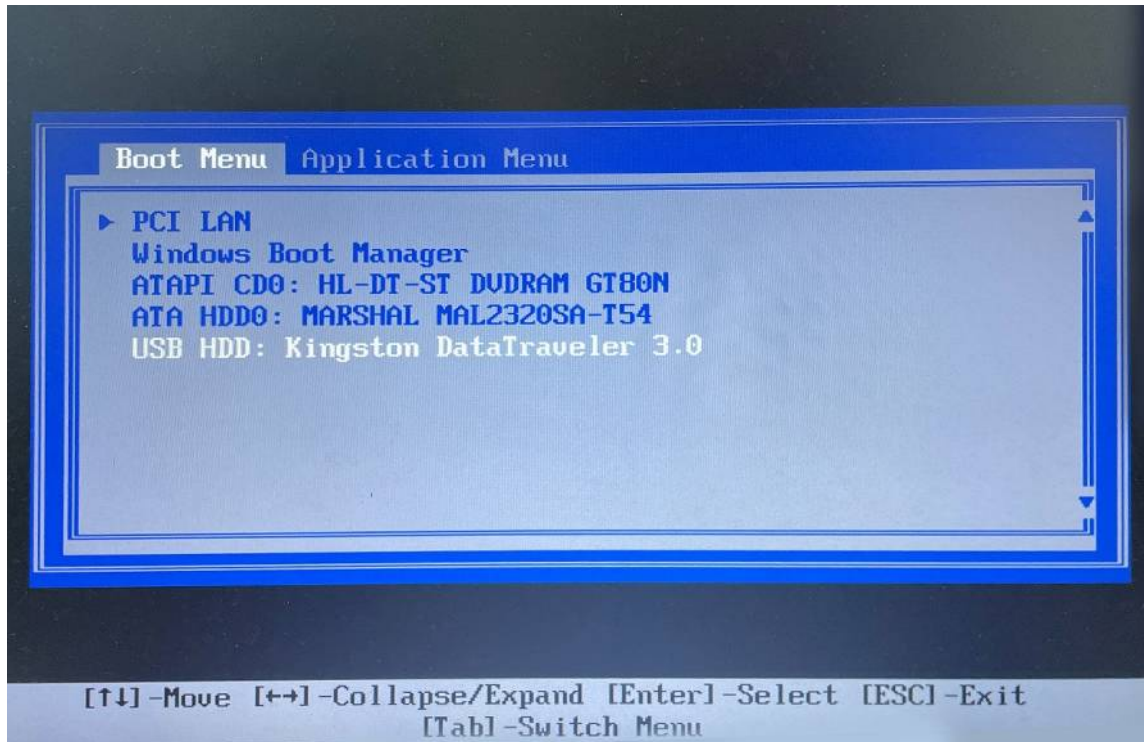
ブータブルメディアを使用して、以下の手順で**ドライブクリーナー EX**を起動し、実行することができます。

ターゲットシステムを起動し、ドライブクリーナー EX を実行する手順:

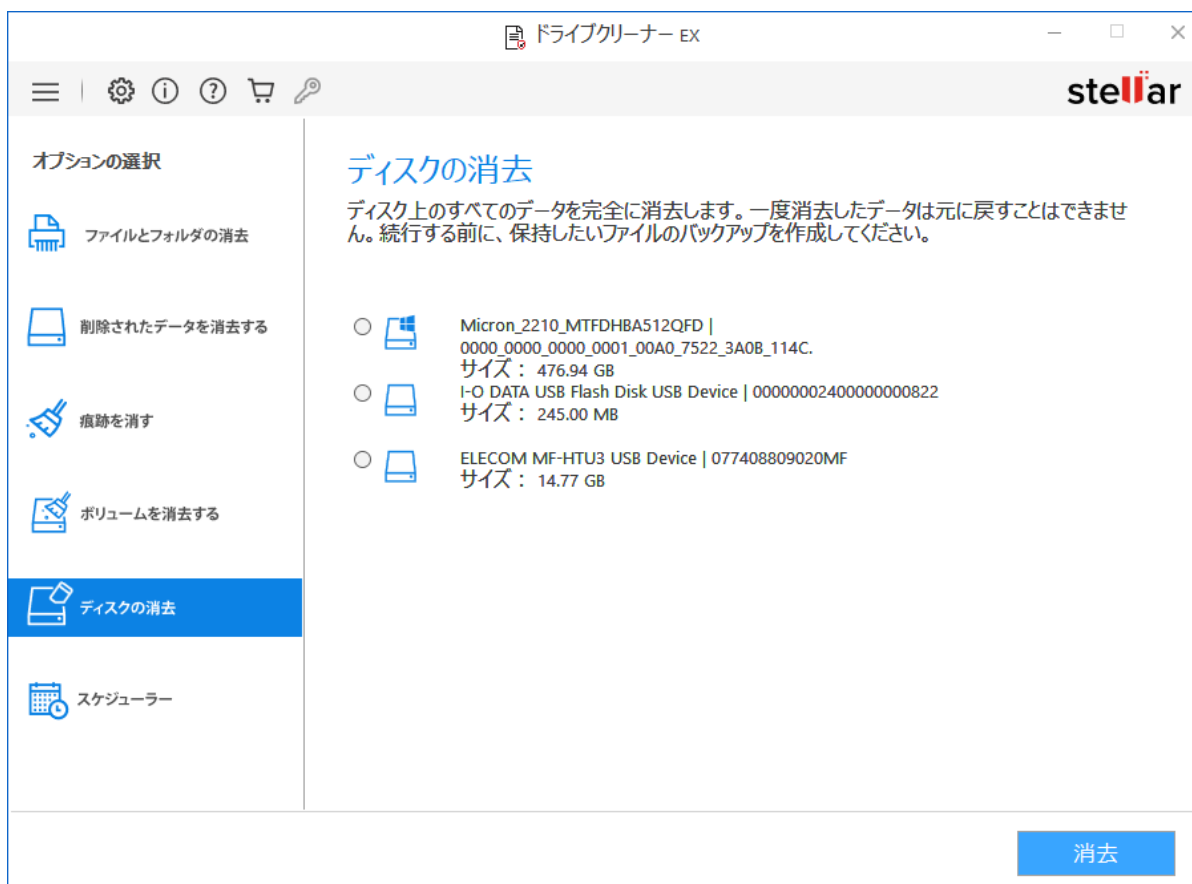
1. ブータブルメディア (USB ドライブまたは DVD) をコンピューターに接続します。
2. コンピューターの電源ボタンを押します。
3. 初期起動画面で、BIOS のバージョンとコンピューターの製造元に応じて、**DEL** または **ESC** または **F1** または **F2** または **F8** または **F10** または **F12** を押して、ブートメニューを表示します (ブートメニューに入るキーは初期起動画面に表示されます)。



4. ブートメニューから **BitRaser ブータブルメディア** を選択し、キーボードの **[Enter]** ボタンを押します。




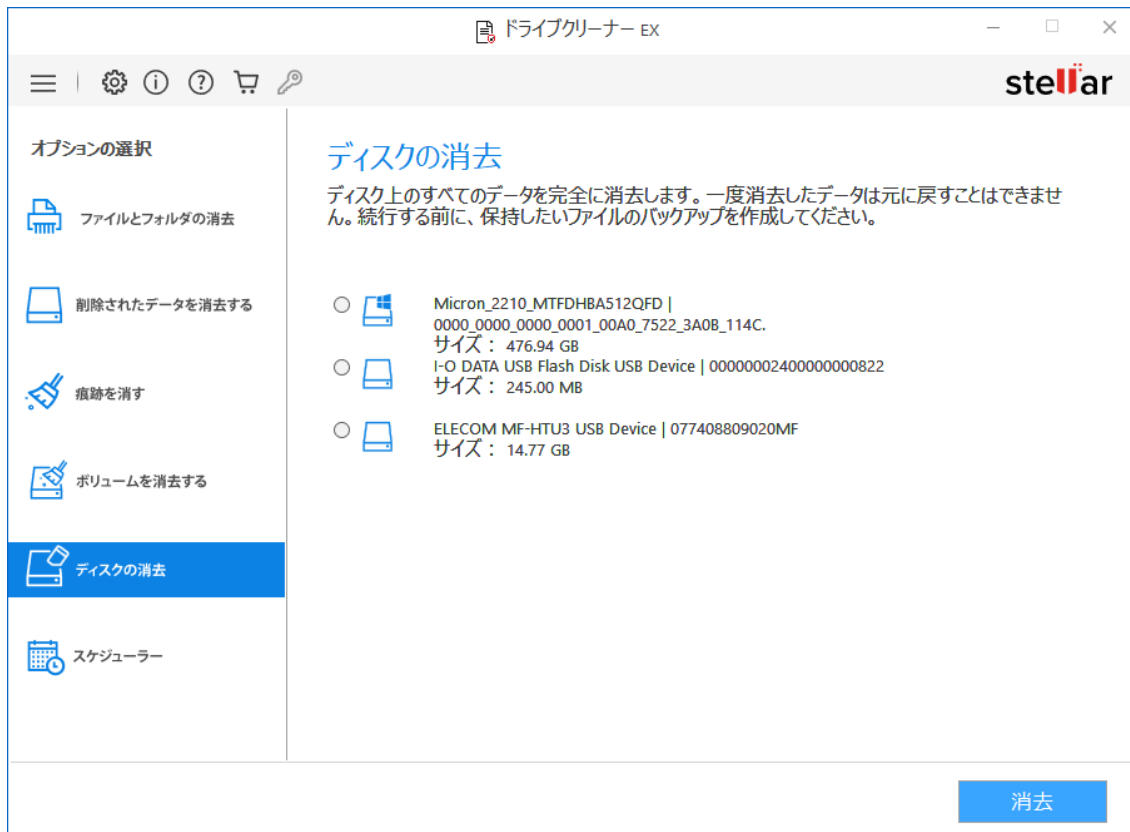
ブートプロセスが完了すると、下図のようにドライブクリーナー EX が画面に表示されます：



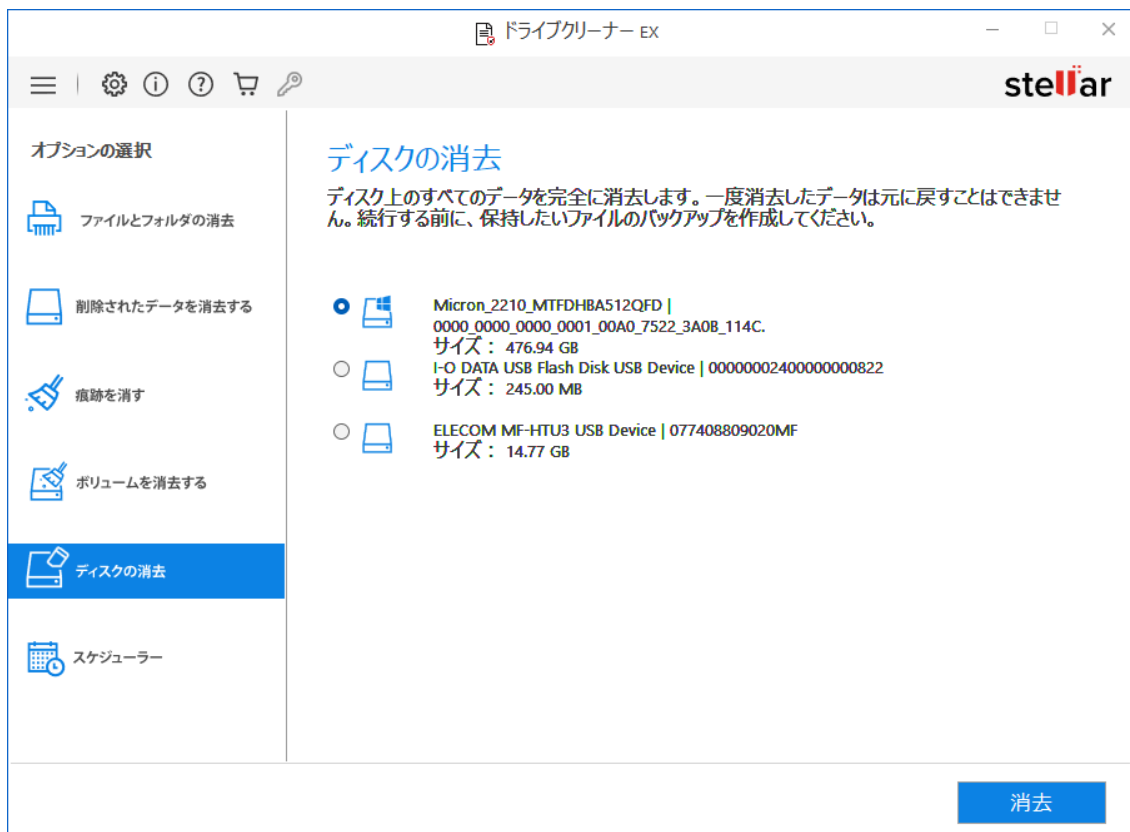
ブートディスクを消去する:

1. コンピューターがドライブクリーナー EX アプリケーションを実行すると、以下のようにシステムのすべての接続ディスクが表示された**ディスクの消去**オプションの画面が表示されます:

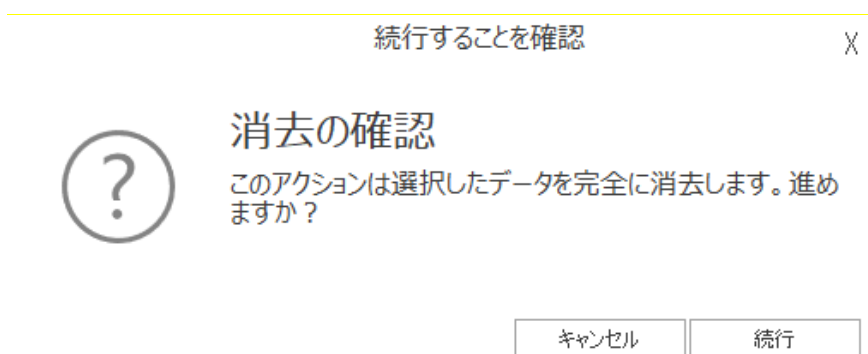
注: ソフトウェアがブータブル メディアから実行されている場合、**【ディスクの消去】** および **【設定】**  オプションのみが有効になります。**【設定】** ダイアログで消去方法を変更し、ブートディスクを消去できます。詳細については、「消去オプション」のセクションを参照してください。



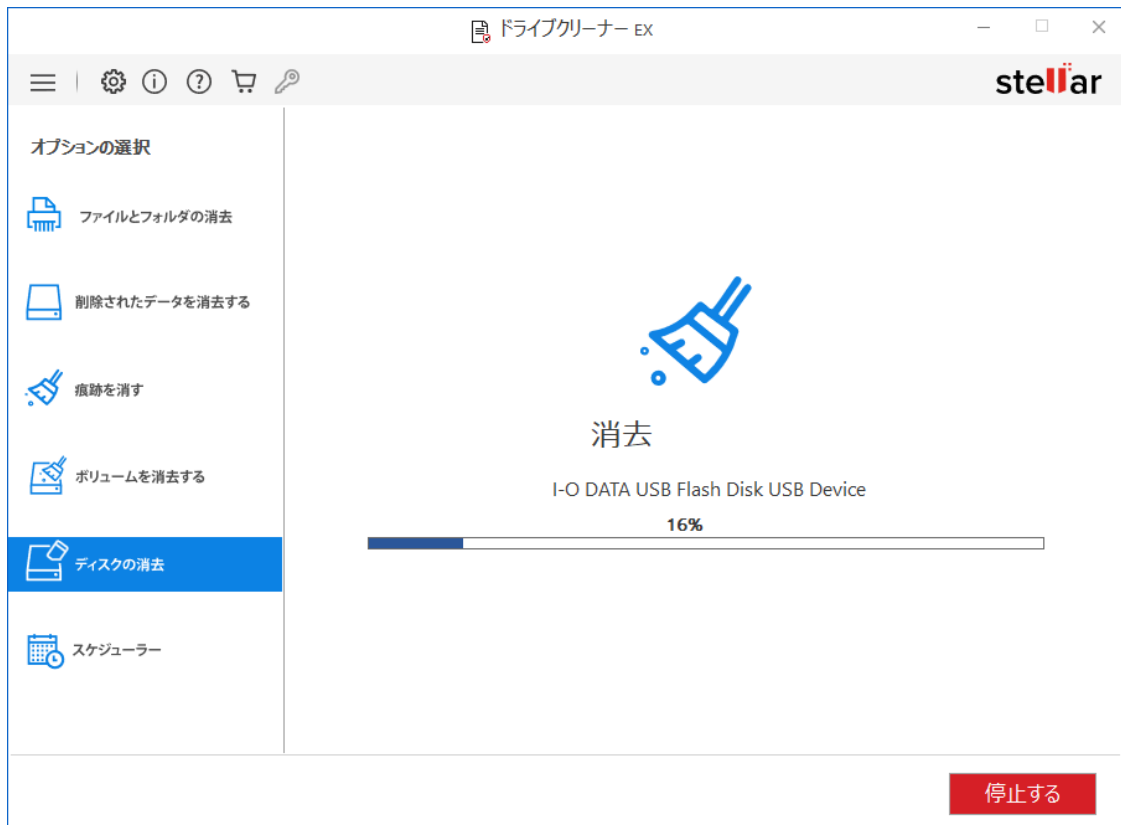
2. 消去するハードドライブのチェックボックスを選択します。



3. **【消去】** ボタンをクリックして、消去プロセスを開始します。
4. 選択したデータを完全に消去するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。**【続行】** をクリックして続行します。



5. **ディスクの消去処理** が開始されたら、必要に応じて **【停止する】** ボタンをクリックして消去処理を終了できます。



6. 消去処理が完了すると、**処理完了**ウィンドウに消去されたディスクの**消去の概要**が表示されます。



7. [OK]をクリックして処理を終了します。

4.6.スケジューラーの設定

ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) は、事前に定義された日時に実行する特定のタスクをプリセットするオプションを提供します。このソフトウェアを使用すると、消去活動のイベントのシーケンスとしてスケジュールを設定することができます。あなたは、コンピューターまたはファイルやフォルダの特定のリストを使用している間に作成された痕跡をスキャンして消去するタスクをスケジュールすることができます。

以下のオプションがあります：

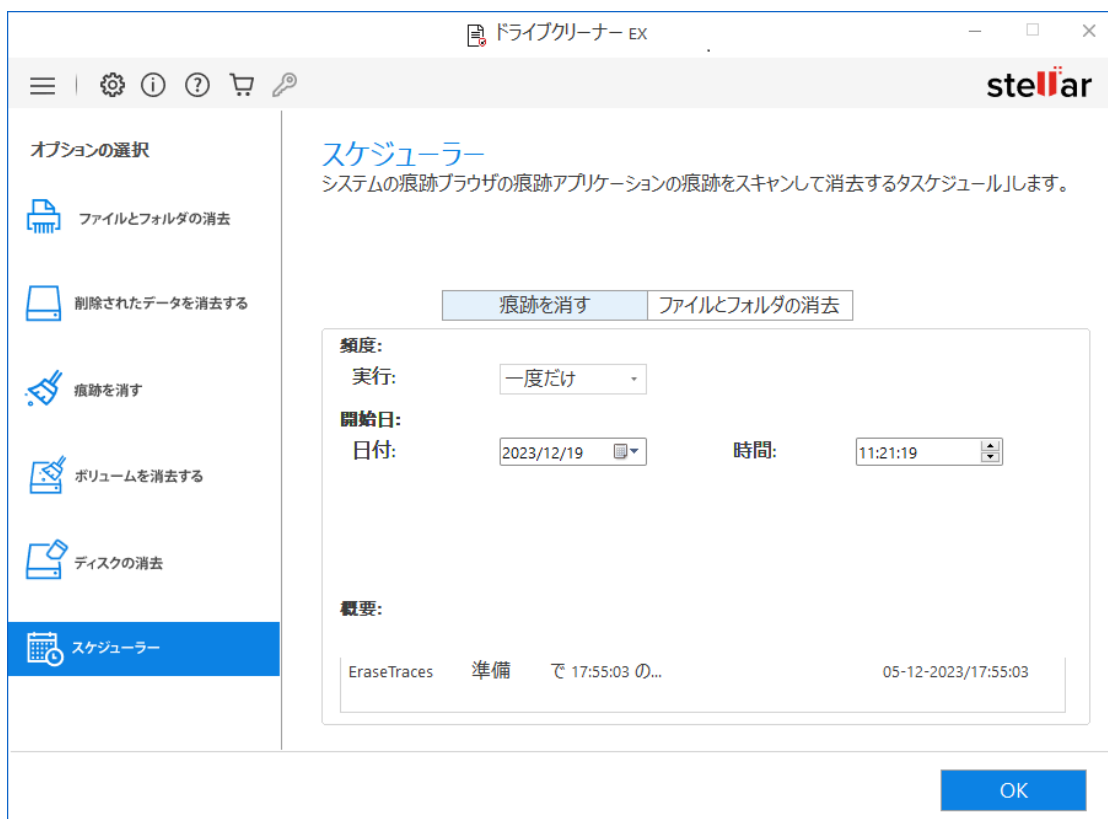
- 痕跡消去のスケジューラー設定
- ファイルやフォルダを消去するスケジューラーの設定

4.6.1.痕跡消去のスケジューラー設定

インターネットの痕跡、ブラウザの痕跡、システムの痕跡、システムの操作中に作成されたアプリケーションの痕跡をスキャンして消去するタスクをスケジュールすることができます。

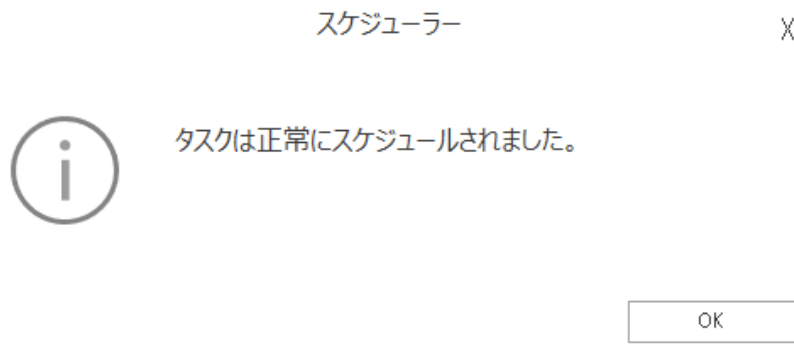
痕跡消去のスケジューラーを設定する：

1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. 画面左ペインに表示されている「オプションの選択」タブから「スケジューラー」を選択します。



3. スケジューラー画面が表示され、痕跡を消すタブがデフォルトで選択されています。
4. 消去タスクをスケジュールします。[実行]ドロップダウンメニューで頻度を選択します：
 - スケジューラーを 1 回だけ実行する場合は、「一度だけ」を選択します。
 - スケジューラーを毎日実行するには、「毎日」を選択します。

- 毎週スケジューラーを実行するには、「**毎週**」を選択します。
 - 毎月スケジューラーを実行するには、「**毎月**」を選択します。
 - 起動毎にスケジューラーを実行するには、「**起動毎**」を選択します。
5. スケジューラーの**日時**を選択します。
 6. **[OK]**をクリックします。
 7. 正常に終了すると、「**タスクは正常にスケジュールされました。**」ダイアログボックスが表示されます。



8. **[OK]**をクリックして処理を終了します。

4.6.2.ファイルやフォルダを消去するスケジューラーの設定

選択したファイルやフォルダを消去するタスクを作成し、スケジュールすることができます。

以下のオプションがあります：

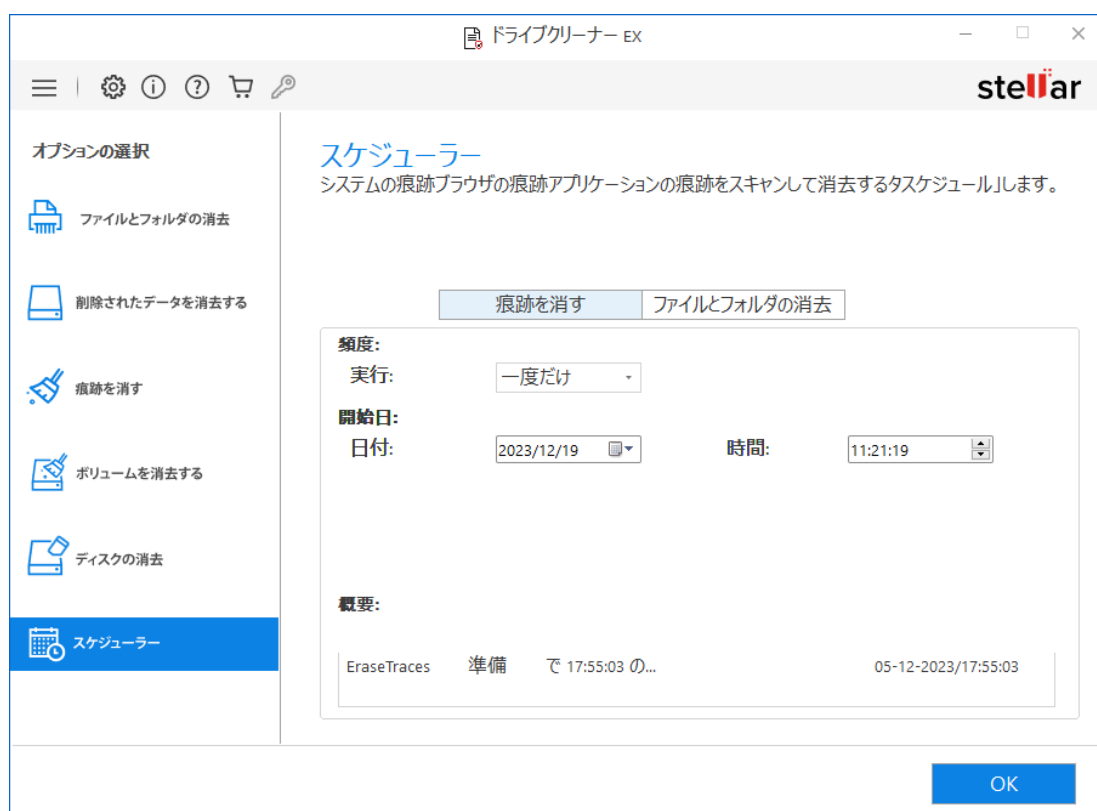
- 新規タスクの作成
- 既存のタスクを変更する
- スケジュールされたタスクの削除

4.6.2.1.新規タスクの作成

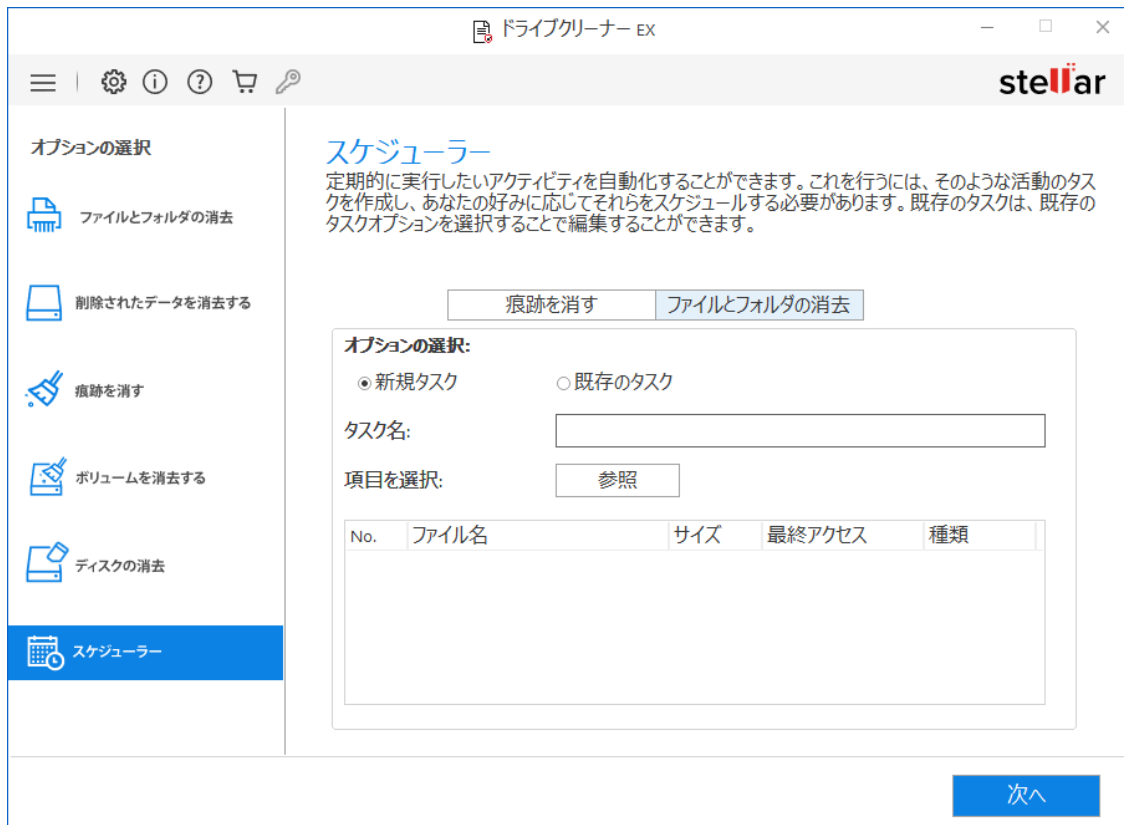
ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) は、新しいタスクを好きなだけスケジュールするオプションを提供します。

新規タスクを作成する:

1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. 画面の左ペインに表示されている「オプションの選択」タブから「スケジューラー」を選択します。



3. 表示されたスケジューラー画面からファイルとフォルダの消去タブを選択します。



4. オプションの選択セクションには 2 つのオプションがあります：

- i. 新規タスク
- ii. 既存のタスク

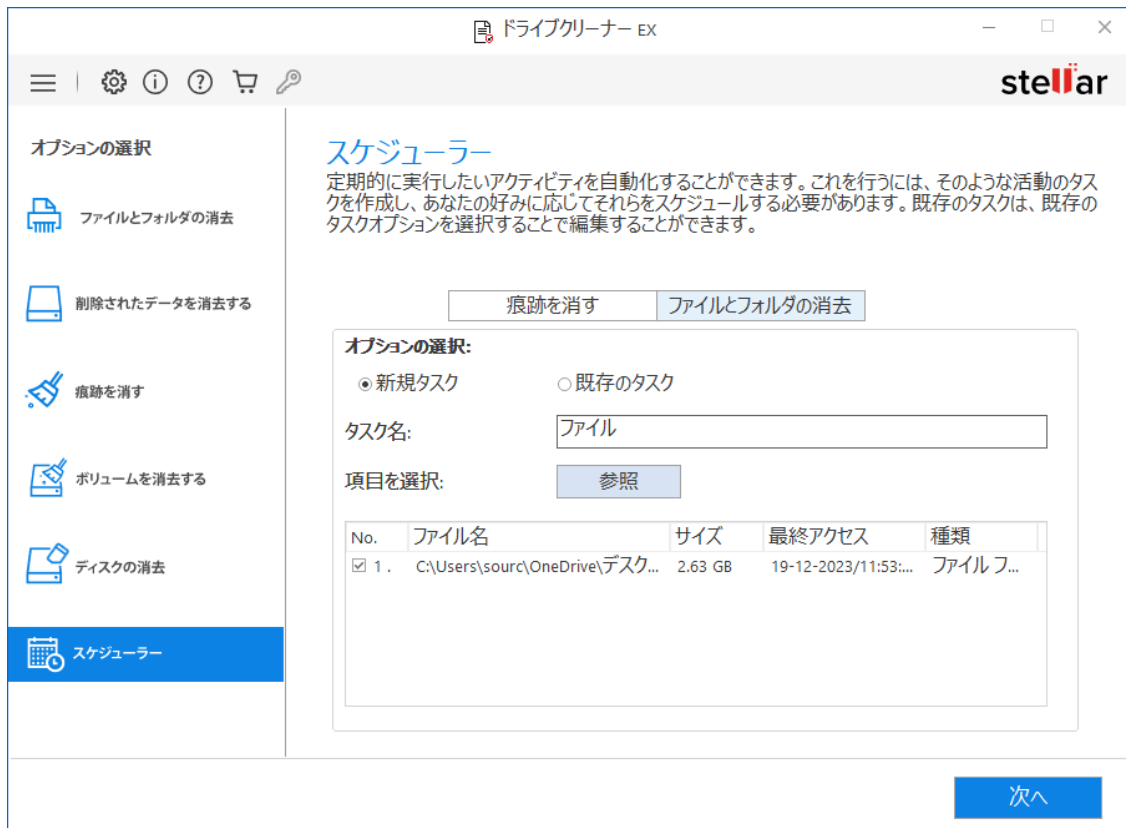
5. 新規タスクオプションはデフォルトで選択されています。選択されていない場合は、このオプションを選択します。

6. タスク名フィールドにタスク名を入力します。

7. 項目を選択セクションで[参照]をクリックし、目的のファイルまたはフォルダを選択して[OK]をクリックします。

8. 選択したファイルとフォルダのリストが表示されます。[参照]ボタンを使用して、必要な数のファイルまたはフォルダを追加します。

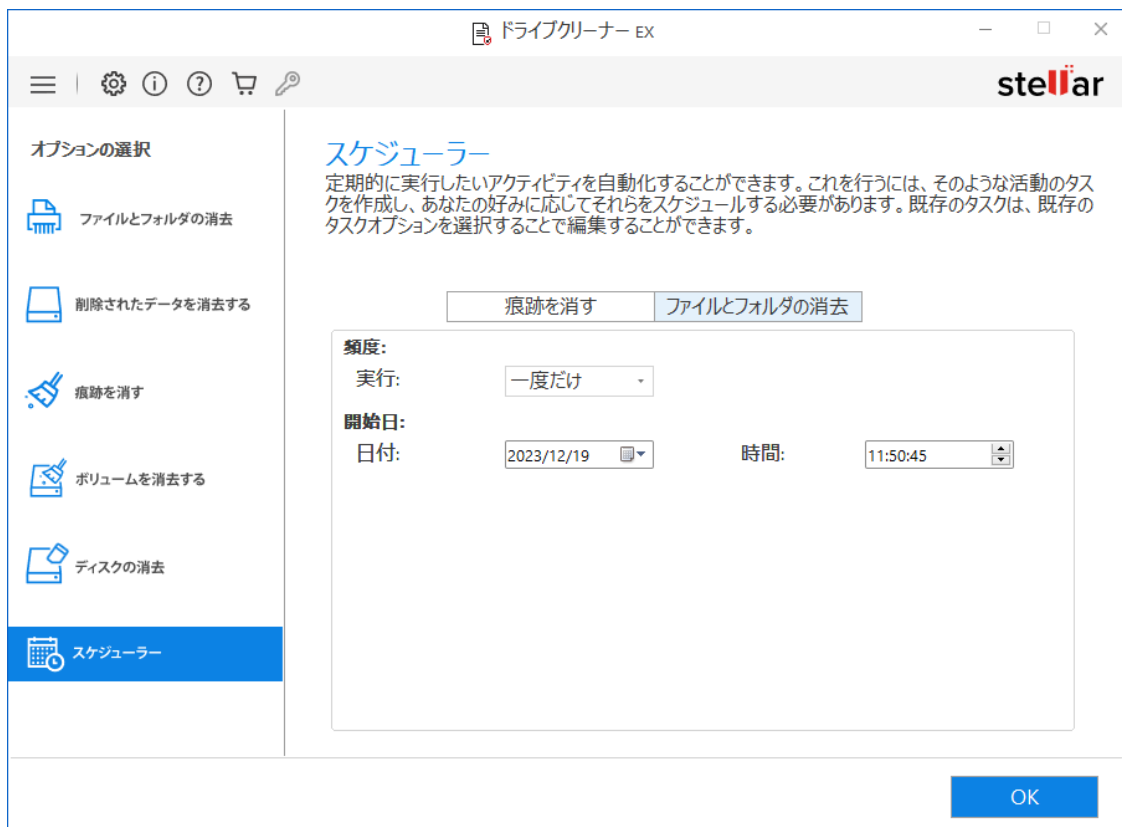
9. 消去したいファイルやフォルダにチェックを入れる、もしくは外します。



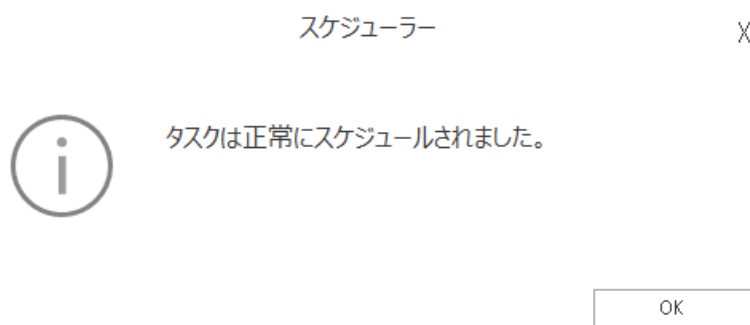
10. [次へ]をクリックします。

11. 消去タスクをスケジュールします。**実行**ドロップダウンリストで **頻度**を選択します：

- スケジューラーを 1 回だけ実行する場合は、「**一度だけ**」を選択します。
- スケジューラーを毎日実行するには、「**毎日**」を選択します。
- 毎週スケジューラーを実行するには、「**毎週**」を選択します。
- 毎月スケジューラーを実行するには、「**毎月**」を選択します。
- 起動毎にスケジューラーを実行するには、「**起動毎**」を選択します。



12. 開始日から、スケジューラーの日付と時間を選択します。
13. [OK]をクリックします。
14. 正常に終了すると、「タスクは正常にスケジュールされました。」ダイアログボックスが表示されます。



15. [OK]をクリックして処理を終了します。

注: スケジュールをタスク化すると、**タスク名、ステータス、トリガー、次回実行時間、最終実行時間**を含むスケジュー

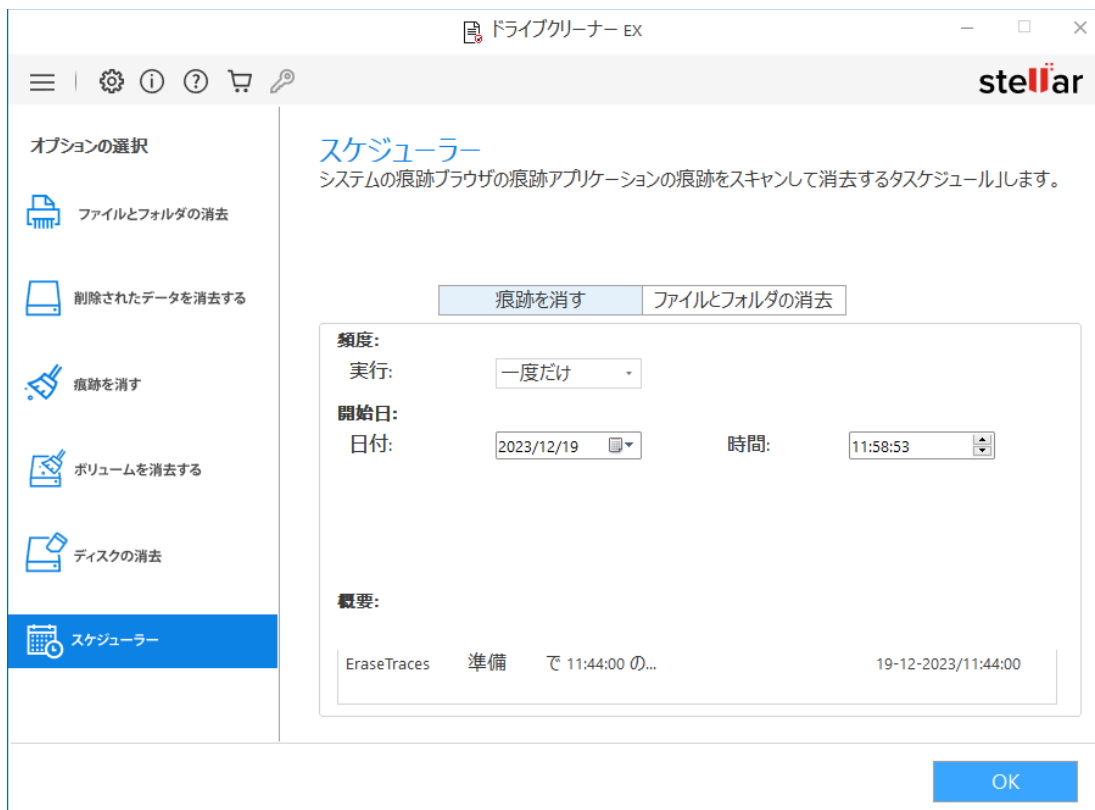
ーラーサマリーが毎回作成されます。

4.6.2.2. 既存のタスクを変更する

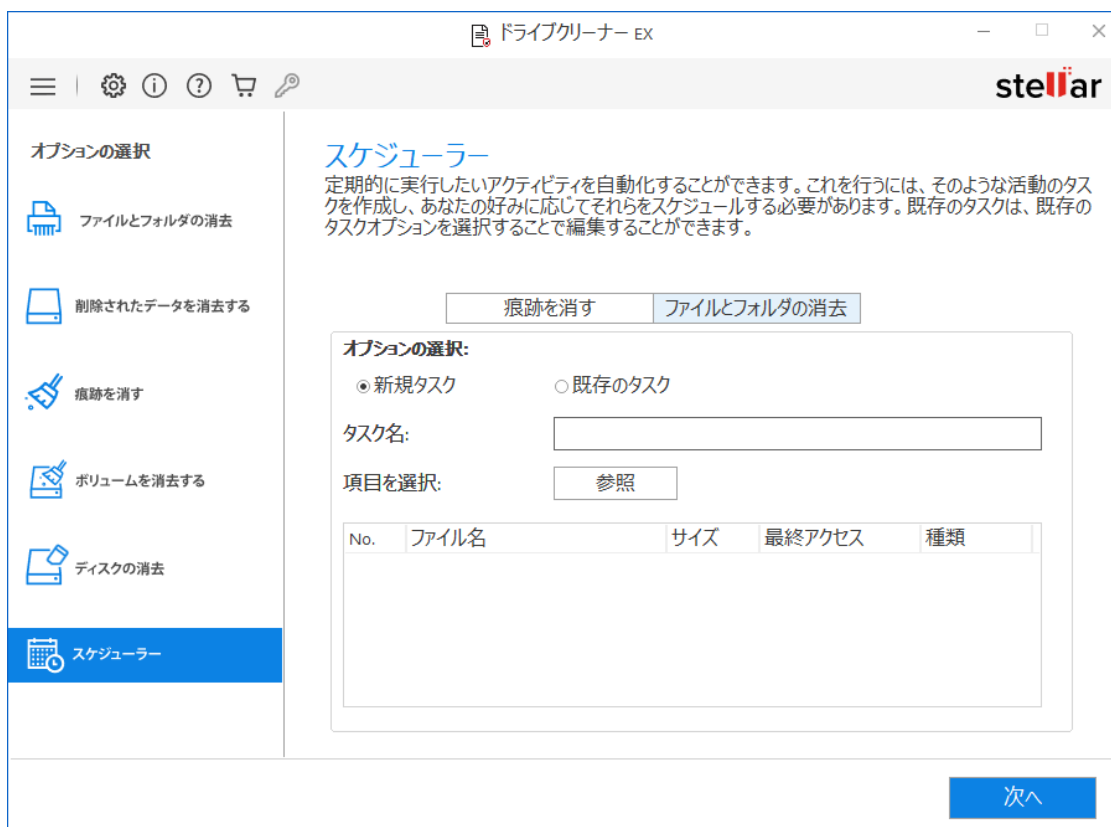
ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) は、既存のスケジュールされたタスクの名前を編集または変更するオプションを提供します。

既存のタスクを編集/変更する:

1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. 画面の左ペインに表示されている「オプションの選択」タブから「スケジューラー」を選択します。



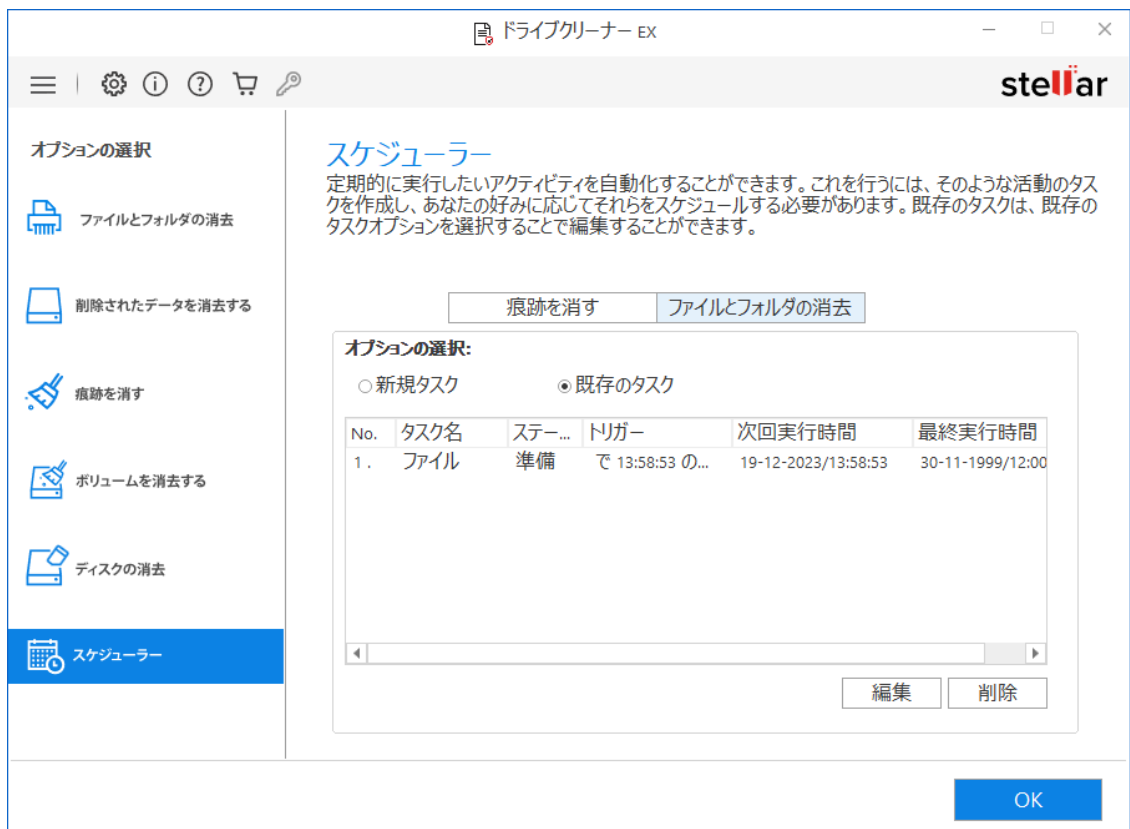
3. 表示されたスケジューラー画面からファイルとフォルダの消去タブを選択します。



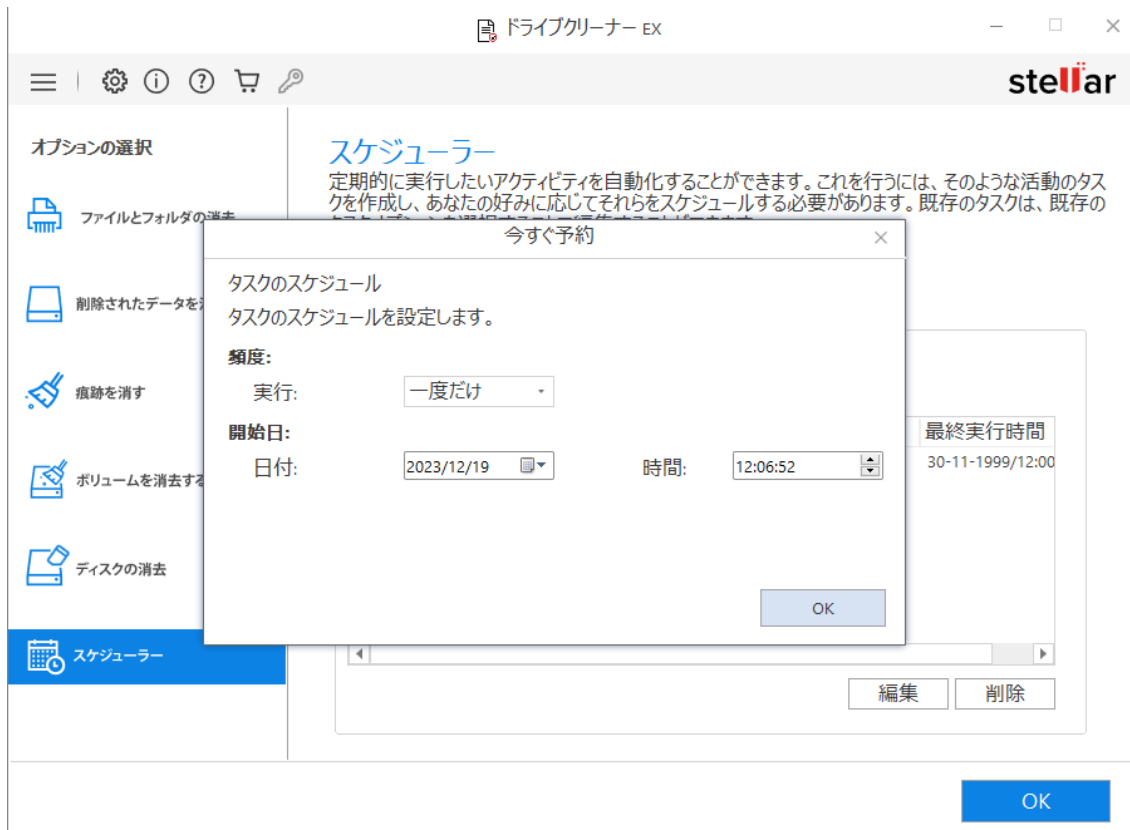
4. オプションの選択セクションには 2 つのオプションがあります：

- i. 新規タスク
- ii. 既存のタスク

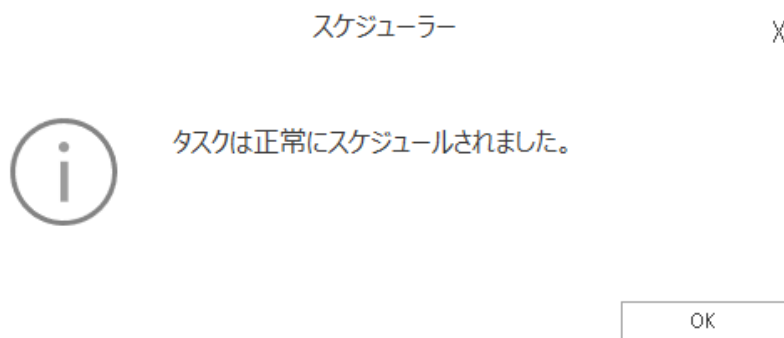
5. 既存のタスクを選択します。すでに作成されたタスクのリストがすべての詳細とともに表示されます。



6. 編集したいタスクを選択し、**[編集]**をクリックします。
7. **今すぐ予約**ウィンドウが表示されます。**実行**ドロップダウンリストを使用して**頻度**を選択します：
 - スケジューラーを1回だけ実行する場合は、「**一度だけ**」を選択します。
 - スケジューラーを毎日実行するには、「**毎日**」を選択します。
 - 毎週スケジューラーを実行するには、「**毎週**」を選択します。
 - 毎月スケジューラーを実行するには、「**毎月**」を選択します。
 - 起動毎にスケジューラーを実行するには、「**起動毎**」を選択します。



8. 開始日から、スケジューラーの日付と時間を選択します。
9. [OK]をクリックします。
10. 正常に終了すると、「タスクは正常にスケジュールされました。」ダイアログボックスが表示されます。



15. [OK]をクリックして処理を終了します。

注:スケジュールをタスク化すると、**タスク名、ステータス、トリガー、次回実行時間、最終実行時間**を含むスケジュー

ーラーサマリーが毎回作成されます。

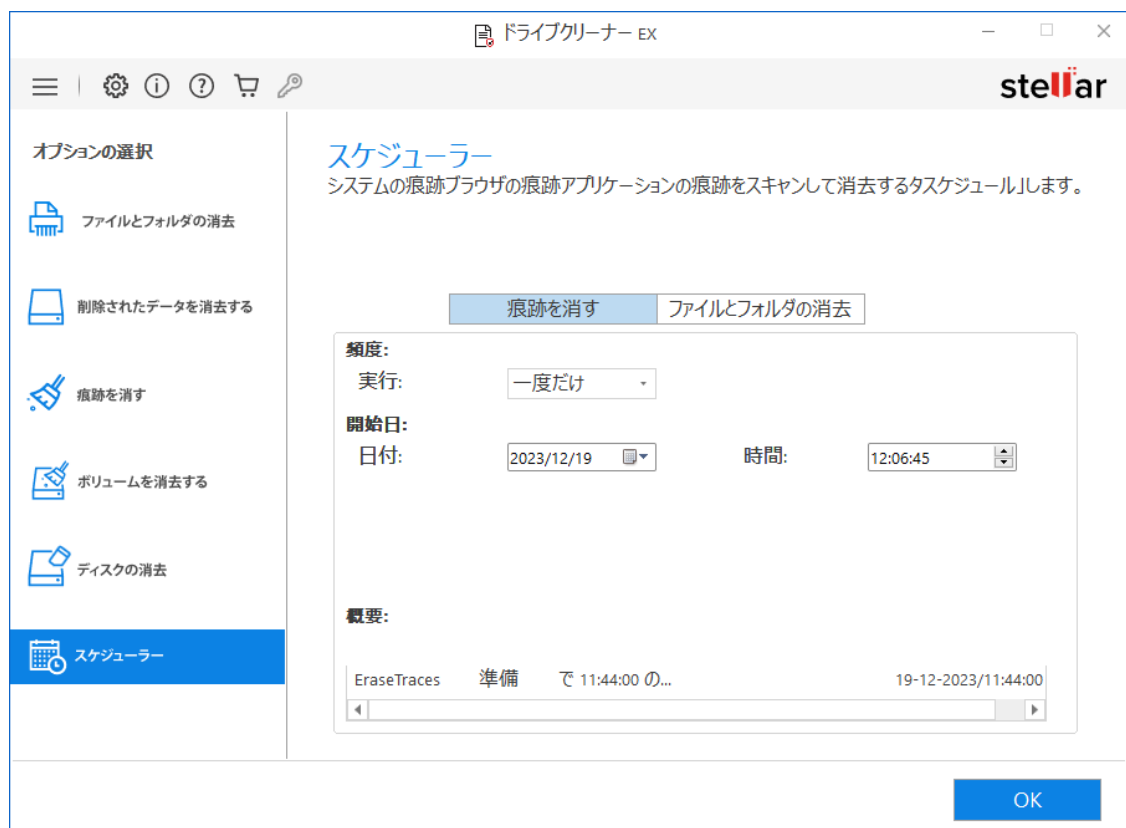
4.6.2.3. スケジュールされたタスクの削除

ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser)は、既存のスケジュールされたタスクを削除するオプションも提供しています。

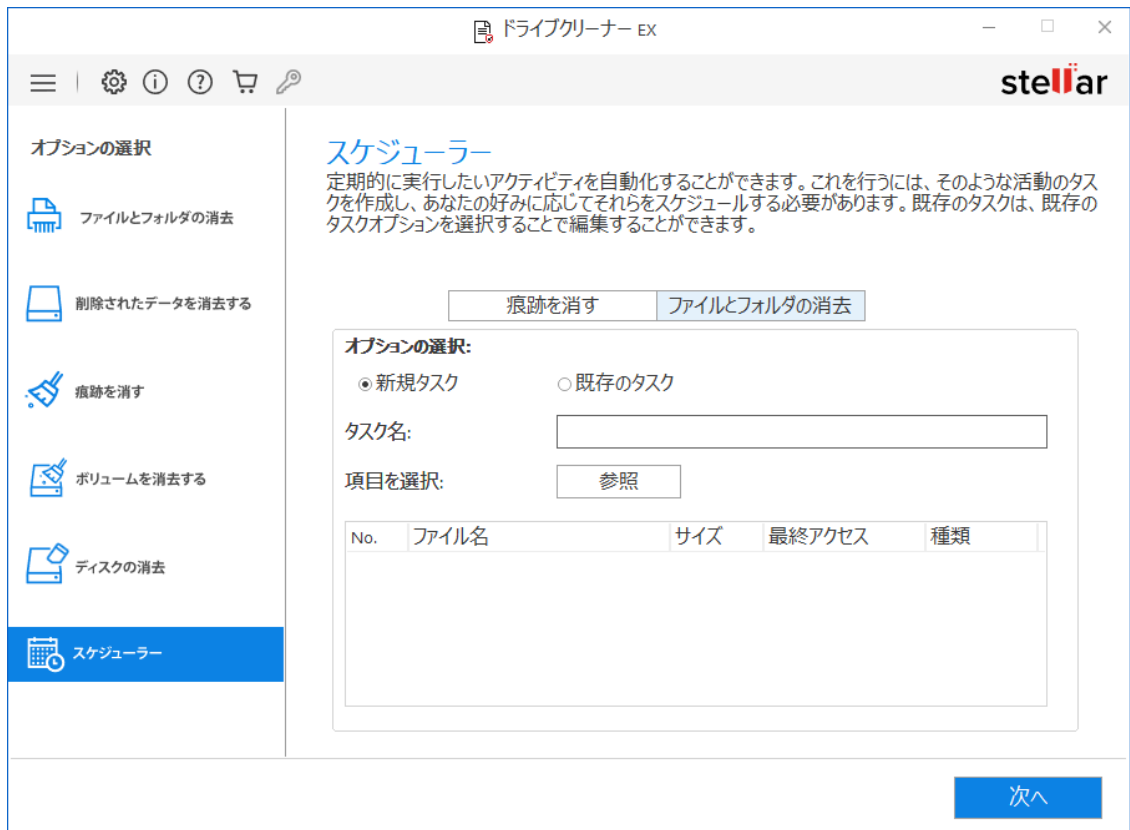
注: スケジュールされたタスクが消去リストから削除されると、**ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser)**から永久に消去されます。

既存のスケジュールタスクを削除するには：

1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. 画面左ペインに表示されている「オプションの選択」タブから「スケジューラー」を選択します。



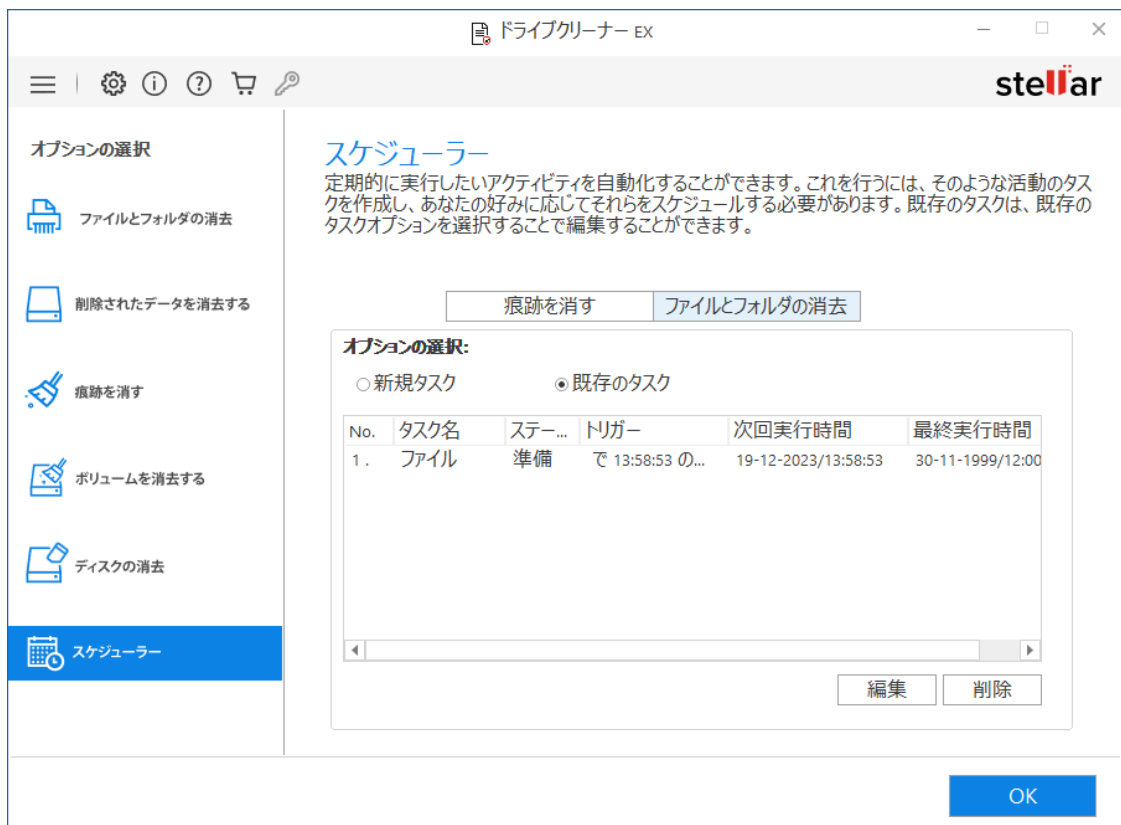
3. 表示されたスケジューラー画面からファイルとフォルダの消去タブを選択します。



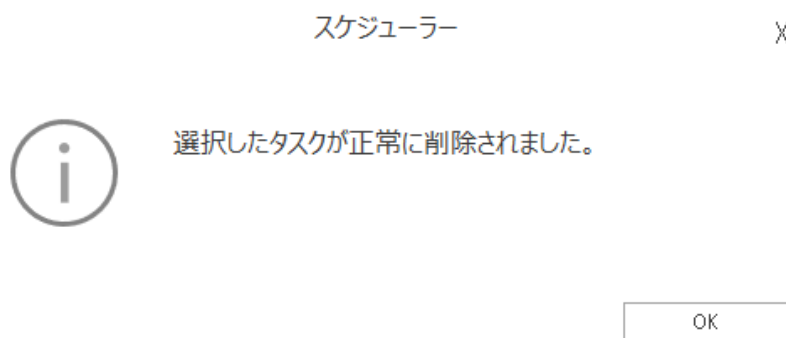
4. オプションの選択セクションには 2 つのオプションがあります：

- i. 新規タスク
- ii. 既存のタスク

5. 既存のタスクを選択します。すでに作成されたタスクのリストがすべての詳細とともに表示されます。



6. 削除したいタスクを選択し、**[削除]**をクリックします。
7. 正常に完了すると、「**選択したタスクが正常に削除されました。**」ダイアログボックスが表示されます。



8. **[OK]**をクリックして処理を終了します。

4.7.設定の構成

消去タスクの設定を変更するには

1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. メニューバーから「設定」をクリックします。
3. さまざまな設定オプションから選択できます：
 - 一般設定
 - 痕跡を消す設定
 - 無視するファイル一覧

4.7.1.一般設定

一般設定は、言語や表示など、アプリケーションの表示方法をコントロールするための基本的な設定です。

一般設定には以下が含まれます：

- テーマ
- 消去オプション

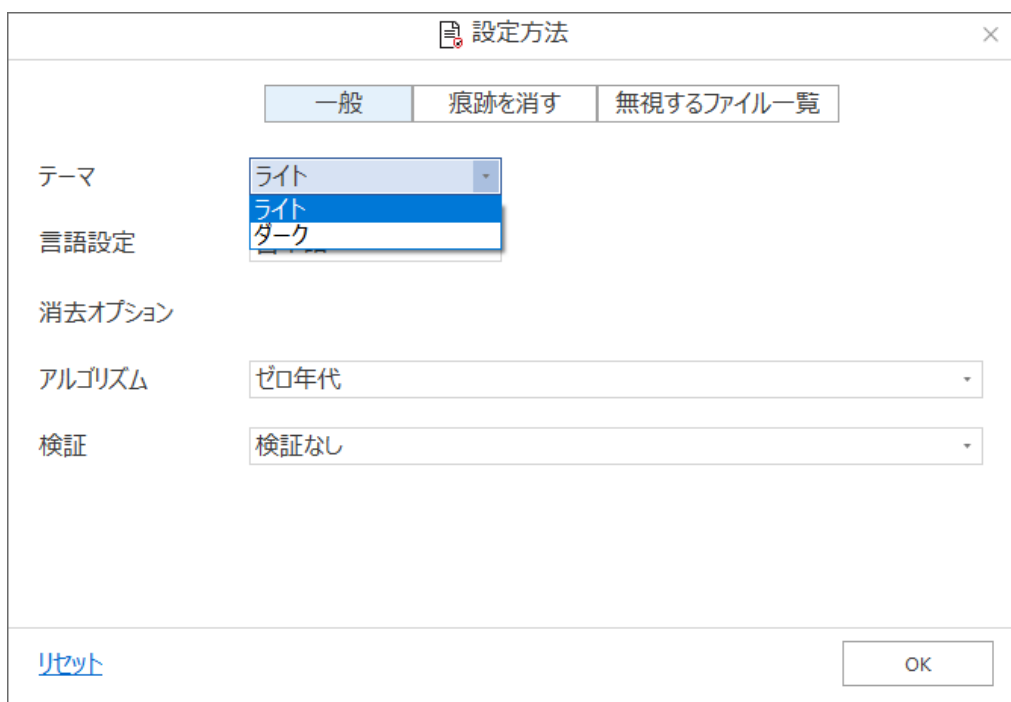
4.7.1.1. テーマ

ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) では、アプリケーションのテーマを選択することができます。

- **ダーク** - アプリケーションの背景をブラックモードまたはナイトモードにします。
- **ライト** - アプリケーションの背景を白モードにします。

テーマを選択する:

1. **ドライブクリーナー EX** を実行します。
2. メニューバーから**[設定]**をクリックします。
3. **一般**で「**テーマ**」のドロップダウンメニューをクリックし、「**ライト**」または「**ダーク**」を選択します。



4. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

注: 設定をデフォルトに戻すには、**[リセット]**をクリックしてください。

4.7.1.2.消去オプション

ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) は、3 つの提供されたアルゴリズムのリストから消去アルゴリズムを選択することができます。また、データが永久に消去されることを保証するために、3 つの検証オプションが用意されています。

- 消去アルゴリズム
- 検証方法

消去アルゴリズム

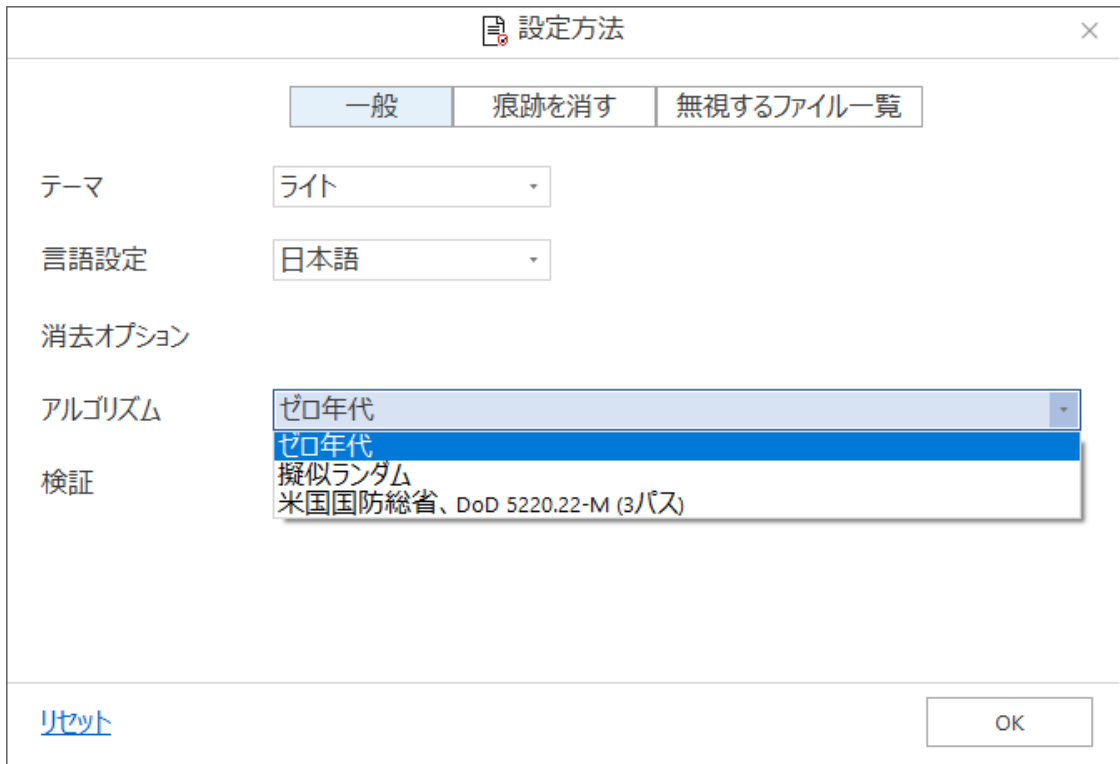
消去アルゴリズム	説明
ゼロ年代	このアルゴリズムは、シングルパスでデータをゼロで上書きして消去します。これはユーザーが利用できる最速のアルゴリズムです。
擬似ランダム	このアルゴリズムは、ランダムに生成された数字でハードディスク全体を一度に上書きすることでデータを消去します。
米国国防総省、 DoD 5220.22-M(3 パス)	このアルゴリズムは、3 つのパスでハードドライブを上書きすることでデータを消去します。最初のパスでは、データをゼロで上書きし、次に 2 番目のパスでデータを 1 で上書きし、最後に 3 番目のパスでランダムに生成されたバイトでデータを上書きします。これは米国国防総省のアルゴリズムです。

検証方法

検証方法	説明
検証なし	痕跡が消去された後の検証は行われません。
ランダム 検証	記憶装置のランダム検証は、消去操作の後に行われます。つまり、消去操作の後に、記憶装置のランダムに選択されたセクタが検証されます。
合計検証	トータル・ベリファイでは、消去操作が完了した後、ストレージ・デバイスのすべてのセクタをベリファイします。

アルゴリズムと検証方法を選択する:

1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. メニューバーから[設定]をクリックします。
3. 一般の下にあるアルゴリズムのドロップダウンメニューをクリックし、必要に応じてアルゴリズムを選択します。



4. 検証のドロップダウンメニューをクリックし、必要な検証方法を選択します。

設定方法

一般 痕跡を消す 無視するファイル一覧

テーマ ライト

言語設定 日本語

消去オプション

アルゴリズム ゼロ年代

検証
検証なし
検証なし
ランダム検証
合計検証

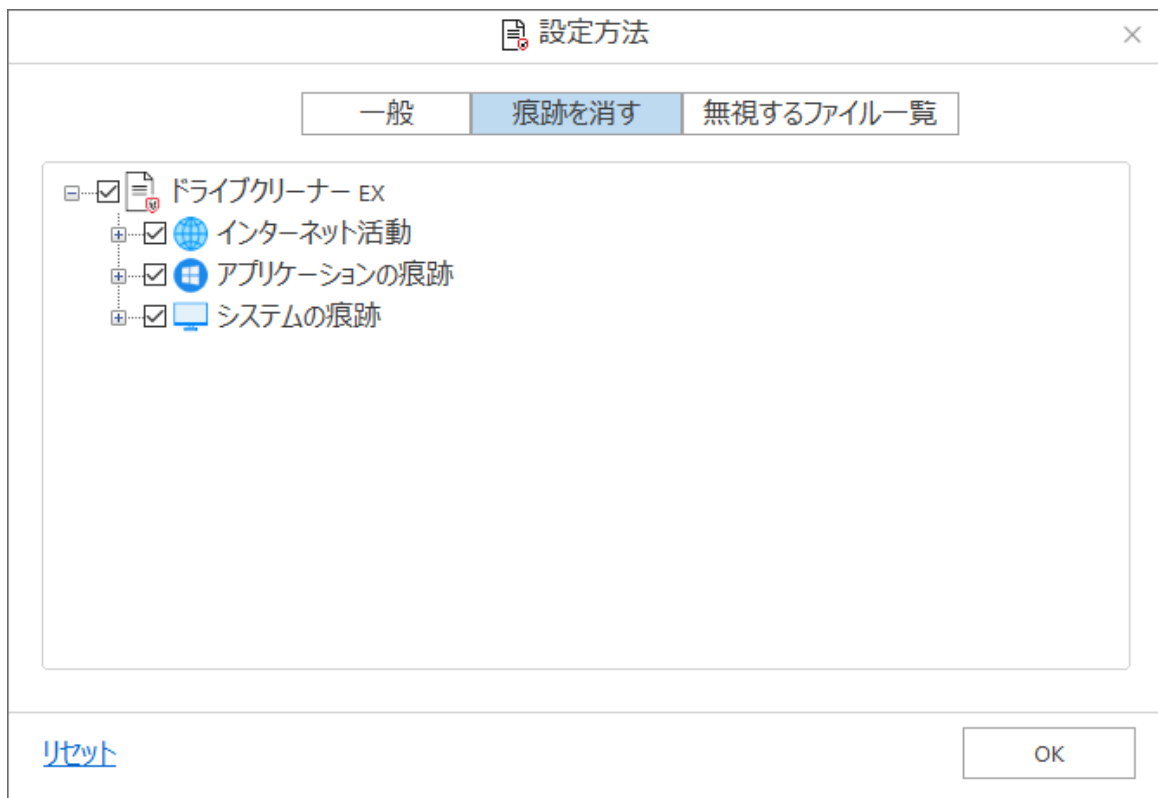
[リセット](#) OK

5. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

注:「**リセット**」をクリックすると、すべての設定がデフォルトになります。

4.7.2. 痕跡を消す設定

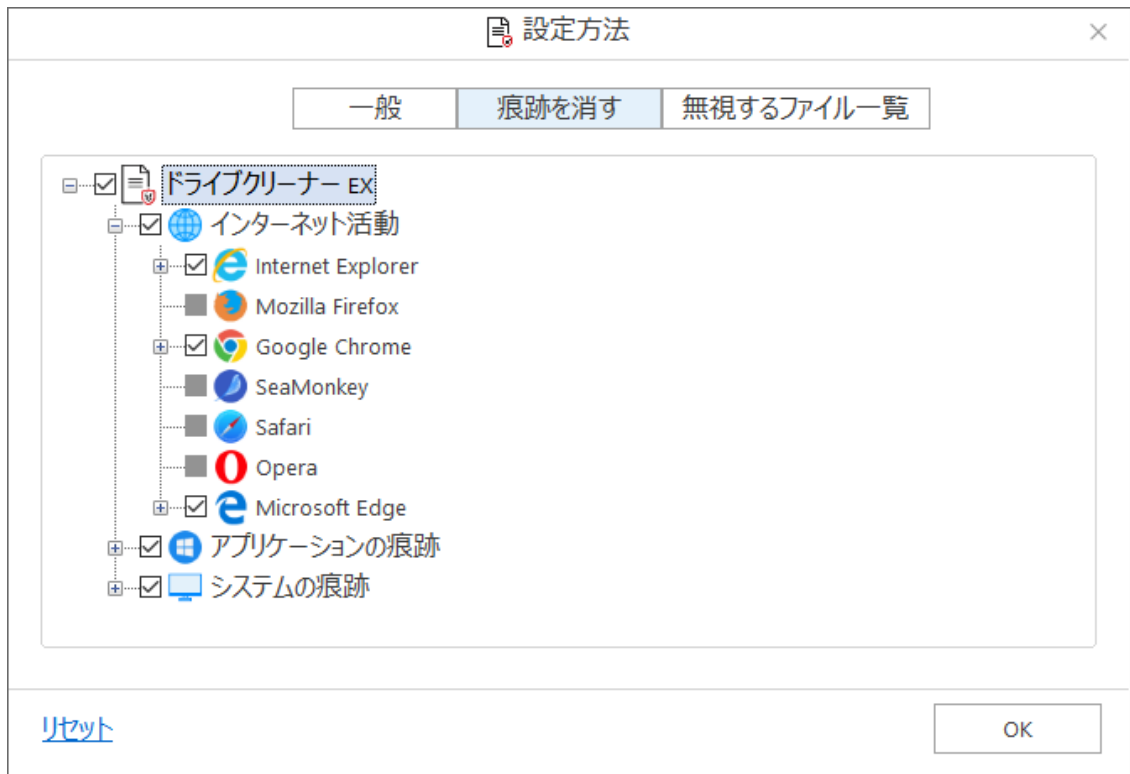
痕跡を消すオプションは、システムをスキャンしてすべての痕跡をリストアップし、永久に削除します。痕跡には、システムの使用中に作成された痕跡、ウェブブラウザによって作成されたインターネットの痕跡、オペレーティングシステムによって作成されたシステムの痕跡、およびアプリケーションによって作成されたアプリケーションの痕跡が含まれます。



ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) は、システムを操作している間に作成された痕跡を消去するための 3 つの異なるオプションを提供します。オプションは次のとおりです：

1. インターネット活動：

インターネットを利用するたびに、プライバシーが危険にさらされます。ハードドライブには、Cookie、履歴、インターネット一時ファイル、お気に入り、フォームやパスワードのオートコンプリートなど、日々のインターネット活動の重要な痕跡が保存されています。痕跡を消す設定により、インターネットブラウザとそのアクティビティを選択し、それらによって作成された痕跡や余計なファイルを削除することができます。



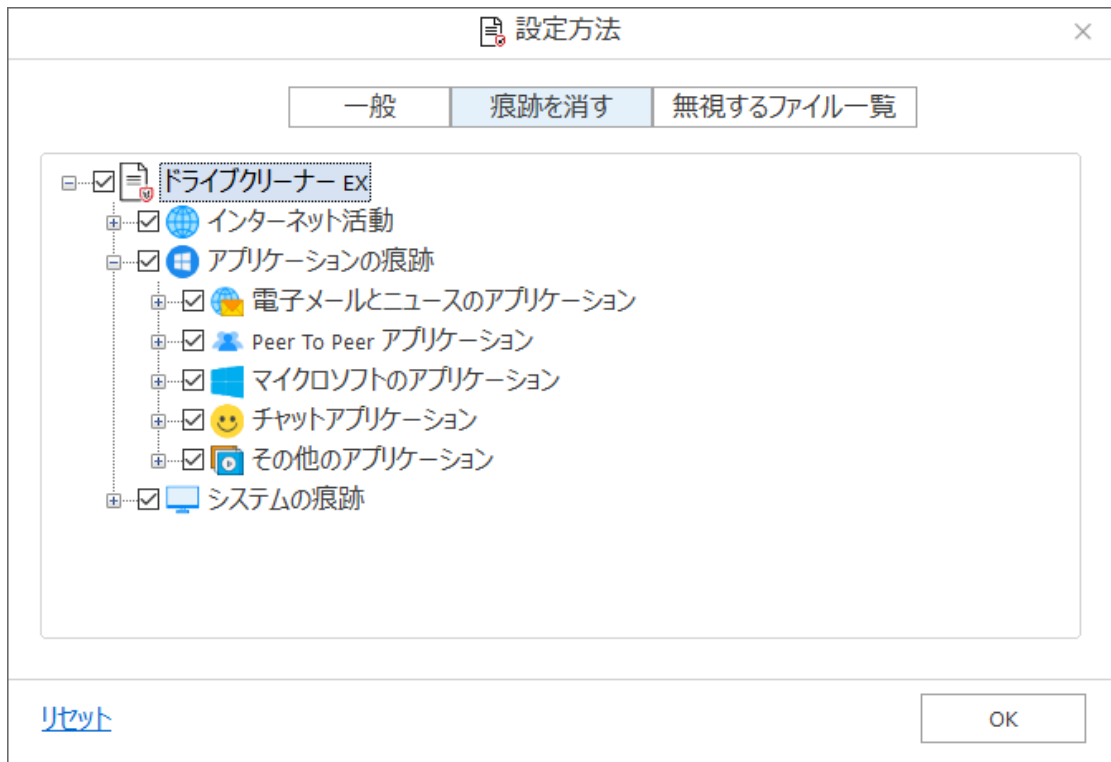
インターネット活動タブを展開し、次の対応インターネットブラウザを表示します（オプションをクリック（+）またはダブルクリック）:

- Internet Explorer
- Mozilla Firefox
- Google Chrome
- SeaMonkey
- Safari
- Opera
- Microsoft Edge

注: インストールされているインターネットブラウザのみが有効になります。

2. アプリケーションの痕跡:

チャットアプリケーションやその他のマイクロソフトのアプリケーションなど、さまざまなアプリケーションを使用すると、システムに痕跡が保存されます。これらはシステムに害を与え、動作を遅くする可能性があります。

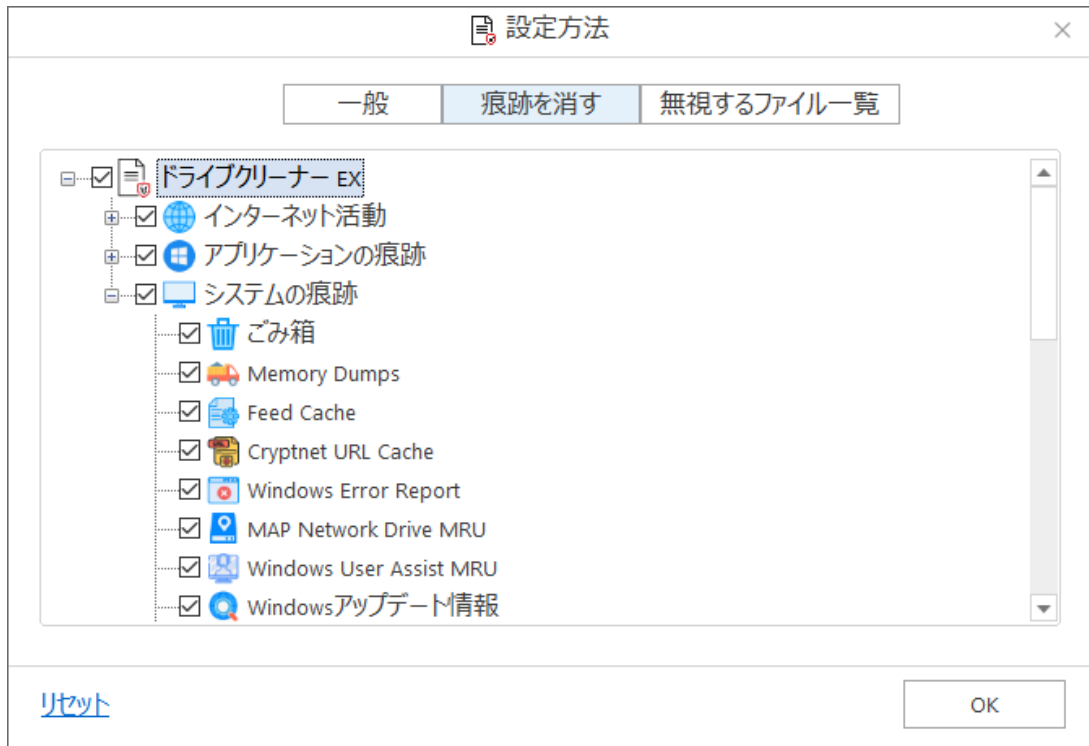


アプリケーションの痕跡を展開します((+)をクリックするか、オプションをダブルクリックします):

- 電子メールとニュースアプリケーション
- Peer To Peer アプリケーション
- マイクロソフトのアプリケーション
- チャットアプリケーション
- その他のアプリケーション

3. システムの痕跡:

システムの痕跡とは、システム内に存在し、メモリ空間を占有する一時的なファイルのことで、オペレーティングシステムの速度と性能を低下させます。これらのファイルは、プロセスの実行中にオペレーティングシステムによって作成されます。ドライブクリーナー EX は、このような痕跡をすべて削除し、システムの速度、パフォーマンス、およびメモリ領域を向上させます。



システムの痕跡を展開します((+)をクリックするか、オプションをダブルクリックします)。

- ごみ箱
- Memory Dumps
- Feed Cache
- Cryptnet URL Cache
- Windows Error Report
- MAP Network Drive MRU

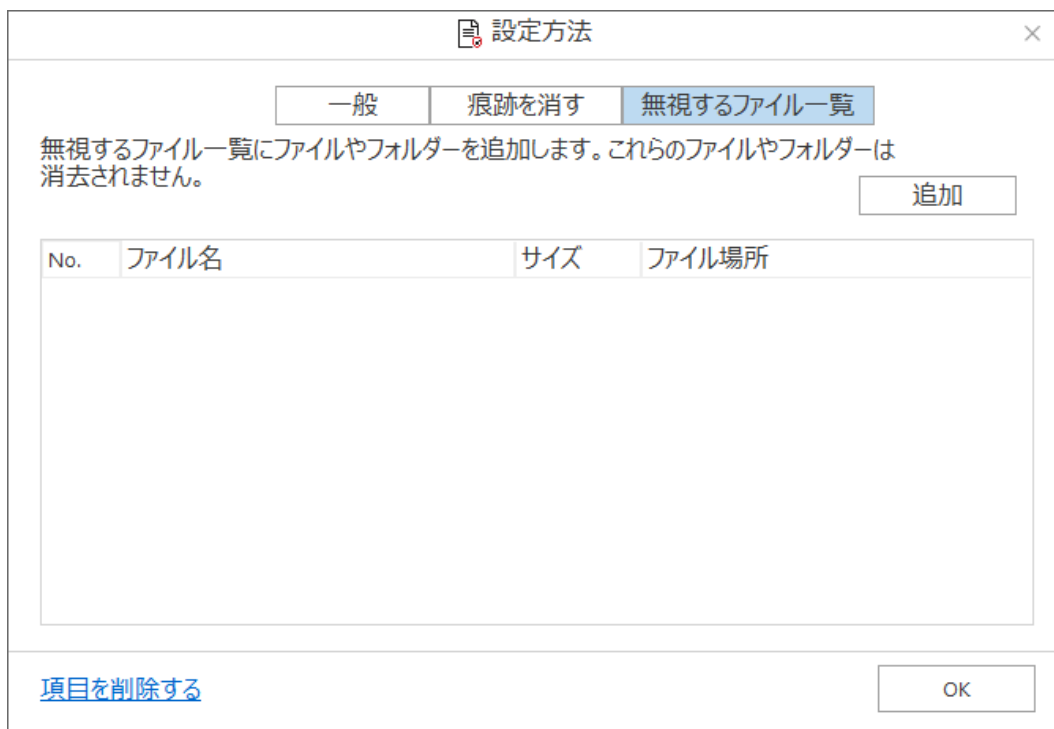
- Windows User Assist MRU
- Windows アップデート情報
- Windows Explorer Stream MRU
- Regedit Last Opened Key
- システムトレイの過去の項目通知
- 保存された検索フォルダ
- 最近使ったファイルやフォルダのリスト
- 実行コマンド入力したプログラム一覧
- Windows の一時ファイル
- Windows イベントログ
- スタートメニューのプログラムとお気に入りメニューの順番
- デスクトップ背景の履歴一覧
- 最近のドキュメント
- キャッシュされたフォント
- 診断ログ
- Microsoft.NET ログ
- サービス設定ログ
- システム履歴
- タスクビュー履歴

4.7.3.無視するファイル一覧

ドライブクリーナー EX (BitRaser File Eraser) は、消去処理をしたくないファイルやフォルダを無視するファイル一覧に追加するオプションを提供します。

無視するファイル一覧にファイルやフォルダを追加するには

1. ドライブクリーナー EX を実行します。
2. メニューバーから[設定]をクリックします。
3. 無視するファイル一覧タブを選択します。



4. 無視するファイル一覧ウィンドウから[追加]をクリックし、ファイルとフォルダを無視リストに追加します。
5. コンピューターの参照ウィンドウが表示されます。ファイルまたはフォルダを選択し、[OK]をクリックします。
6. 選択されたファイルまたはフォルダは、すべての詳細とともに表示されます。ファイル名、サイズ、ファイル場所のように。

注: [追加] ボタンを使って、いくつでもファイルやフォルダを追加することができます。また、一度に選択できるファイルやフォルダは 1 つだけです。

設定方法

一般 痕跡を消す **無視するファイル一覧**

無視するファイル一覧にファイルやフォルダを追加します。これらのファイルやフォルダは消去されません。

追加

No.	ファイル名	サイズ	ファイル場所
<input checked="" type="checkbox"/> 1.	デスクトップ	510.04 MB	C:\Users\sourc\OneDrive\デスクトップ

[項目を削除する](#) OK

7. [OK] をクリックして処理を終了します。

注: ファイルまたはフォルダを選択し、[項目を削除する] をクリックすると、リストから削除されます。

5.よくある質問 (FAQ)

1. なぜ BitRaser File Eraser が必要なのですか？

BitRaser File Eraser は、あなたのシステムからファイル、アプリケーション、およびインターネットの痕跡を安全かつ完全に消去し、データのプライバシーを確保するのに役立ちます。また、このソフトウェアの「削除されたデータを消去する」機能は、削除されたデータを完全に消去します（ハードドライブの空き領域）。

2. 私のハードドライブのプライマリパーティションの削除されたデータを消去するために BitRaser File Eraser アプリケーションを使用しても安全ですか？

はい、BitRaser File Eraser を使用して、ハードドライブのプライマリパーティションの削除されたデータを消去することは安全です。

3. アプリケーションの痕跡のデータが完全消去処理後も消去されない場合はどうなりますか？

消去処理中にアプリケーションを終了しなかった場合、または消去処理の完了後にアプリケーションを再起動した後に新しく作成したファイルやフォルダを表示している場合に発生します。

4. ソフトウェアを使って特定のファイルを消去することはできますか？

はい、消去リストに追加することで、特定のファイルを消去したり、検索と消去オプションを使用して選択したファイルを消去することができます。

5. BitRaser File Eraser は復元不可能なデータを削除しますか？

はい、BitRaser File Eraser は復元不可能なデータを削除します。

6. 消去処理完了後、システムの痕跡のデータが消去されない場合は？

この問題は、最近作成されたファイルやフォルダを表示している場合に発生します。オペレーティングシステムは、さまざまな時間間隔でシステムの痕跡を自動的に作成します。

7. 最適な消去にはどのアルゴリズムを選べばよいですか？

これは、アルゴリズムがデータを正確に何回上書きするか、あるいはデータを消去するために使用されるパスの
数に依存します。アルゴリズムによって使用されるパスの数が多ければ多いほど、より効果的です。各アルゴリ
ズムはそれぞれ異なる機能を実行し、要件に応じて適切なアルゴリズムを選択することができます。詳しくは、消
去アルゴリズムをご覧ください。

8. アプリケーションのデータ消去到時間がかりすぎる場合は？

消去するデータのサイズ、システムの構成、消去到使用するアルゴリズムによって異なります。データ量が多く、
構成が少なく、パス数が多い場合、消去到に多くの時間がかかる可能性があります。

9. 自分のインターネット活動をすべて消去したくありません。どうすればいいですか？

BitRaser File Eraser は、インターネット活動のすべてまたはいくつかの特定の痕跡を消去するオプションを提供
します。

6.法的通知

著作権

BitRaser File Eraser ソフトウェア、付属のユーザーマニュアルおよびドキュメントの著作権は Stellar Information Technology Private Limited に帰属します。著作権法に基づき、Stellar Information Technology Private Limited の書面による事前の許可なく、本ユーザーマニュアルをいかなる形でも複製することはできません。ただし、ここに含まれる情報の使用に関しては、いかなる特許責任も負いません。

著作権 © Stellar Information Technology Private Limited.無断複写・転載を禁じます。

免責事項

本取扱説明書に記載されている情報(製品仕様を含むがこれに限定されない)は、予告なく変更されることがあります。

STELLAR INFORMATION TECHNOLOGY PRIVATE LIMITED は、本マニュアルまたは本マニュアルに含まれるその他の情報に関し、いかなる保証も行わず、また、本マニュアルまたは本マニュアルに含まれるその他の情報に関し、商品性または特定目的への適合性に関する黙示的な保証を明示的に否認します。STELLAR INFORMATION TECHNOLOGY PRIVATE LIMITED は、本マニュアルに含まれる技術的または誤植的な誤りや脱落、または本製品とマニュアルの不一致から直接的または間接的に発生した損害について、一切の責任を負いません。STELLAR INFORMATION TECHNOLOGY PRIVATE LIMITED は、不法行為、契約、その他に基づくか否かを問わず、本マニュアルまたは本マニュアルに含まれるその他の情報、またはその使用に起因または関連して生じた、付随的損害、派生的損害、特別損害、懲罰的損害について、一切責任を負いません。

商標

BitRaser File Eraser ® は Stellar Information Technology Private Limited の登録商標です。

Windows 10®, Windows 8®, Windows 7®, Windows Server 2019®, Windows Server 2016®, Windows Server 2012®, Windows Server 2008®, Windows Server 2003®は、Microsoft® Corporation Inc.の登録商標です。

すべての商標を承認します。

その他のブランド名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

エンドユーザー使用許諾契約書

本契約書をよくお読みください。本ソフトウェアの全部または一部をダウンロード、インストール、コピー、アクセスまたは使用することにより、お客様(以下「お客様」といいます)は、お客様を拘束する本契約のすべての条件に同意したものとみなされます。本ライセンス条項には、特に責任制限条項が含まれています。

あなたが本ライセンスの条項に同意しない場合、当社はあなたに本ソフトウェアおよび文書のライセンスを付与しません。あなたは今すぐインストールプロセスを中止し、本ソフトウェアおよび権利証明書を、あなたが本ソフトウェアを取得した当事者に速やかに返却しなければなりません。

1. 定義

1.1 「Stellar」とは、Stellar Information Technology Pvt Ltd.を意味します。Stellar Information Technology Pvt Ltd.は、205, Skipper Corner, 88, Nehru Place, New Delhi, India 110019 に登録事務所を有しています。

1.2 「互換コンピューター」とは、「ドキュメンテーション」に記載されている推奨オペレーティングシステムおよびハードウェア構成を有するコンピューターを意味します。

1.3 「コンピューター」とは、デジタル形式または類似の形式で情報を受け入れ、一連の命令に基づいて特定の結果を得るために情報を操作する仮想的または物理的なデバイスを意味し、デスクトップコンピューター、ノートパソコン、タブレット、モバイルデバイス、電気通信デバイス、インターネット接続デバイス、および多種多様な生産性、娯楽、またはその他のソフトウェアアプリケーションを操作できるハードウェア製品を含みますが、これらに限定されません。

1.4 「お客様」とは、お客様および本ソフトウェアを取得し、その代理として使用する法人を意味します。

1.5 「許可数」とは、Stellar により付与された有効なライセンス(ボリュームライセンス等)に基づき、別段の定めがない限り、1 つを意味します。

1.6 「ソフトウェア」とは、(a) 本契約書が提供される全ての情報を意味します:(i)すべてのソフトウェアファイルおよびその他のコンピューター情報、(ii)エクスポートされたファイルフォーマット内に埋め込まれた独自のスクリプトロジック、(iii)Stellar ソフトウェアにバンドルされた、または Stellar ソフトウェアと共に使用するために Stellar のウェブサイトで Stellar が提供する画像、サウンド、クリップアート、ビデオおよびその他の著作物であって、別個のサービス

(当該サービス内で別段の記載がある場合を除く)を通じて Stellar から取得したものではないもの、または別の当事者から取得したもの(以下「コンテンツファイル」といいます);(iv) 関連する説明文書およびファイル(以下「ドキュメンテーション」といいます)、および (v) 別個の条件で提供されていない限りにおいて、Stellar が随時お客様に提供する、これらの情報の修正バージョンおよびコピー、ならびにアップグレード、アップデートおよび追加(以下総称して「アップデート」といいます)。

2.ライセンス付与、所有権

本ソフトウェアを使用する権利: 本契約の条件に従い、Stellar はお客様に対し、お客様の個人的な目的(お客様が消費者の場合)またはお客様の社内業務目的(お客様がビジネスユーザーの場合)のために、1 箇所の 1 台のコンピューターまたはワークステーション上で、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションにアクセスし、使用するための非独占的、譲渡不能な権利、取消可能かつ限定的なライセンスを付与します。お客様は、本ソフトウェアを第三者(個人または企業)に専門的または有償のサービスを提供するため、および、または商業目的で使用する場合は、技術者ライセンスを使用する必要があります。

シングルユーザーライセンス。 この用語は、一度に 1 台のコンピューター上で 1 人のユーザーのみがインストールおよび使用できる本ソフトウェアを意味します。したがって、本ソフトウェアは、コンピューターから、または別個のコンピューターにおいて、同時にインストール、表示、共有または使用することはできません。シングルユーザーライセンスは、本ソフトウェアの STANDARD、PROFESSIONAL、PREMIUM または CORPORATE Edition を使用するお客様に付与されます。

複数ユーザーライセンス。 この用語は、相当する数のコンピューターを代表する指定された数のユーザーによってインストールおよび使用される可能性のある本ソフトウェアを意味します。本ソフトウェアは、許可されたワークステーション数を超える数のコンピューターから、またはコンピューター上でインストール、表示、共有、または使用されてはなりません。複数ユーザーライセンスは、本ソフトウェアの技術者およびツールキット・エディションに関連します。本ライセンスの最大インストールおよび使用限度は、3 台のコンピューターです。

3.ライセンスの種類

3.1 評価版ソフトウェア/試用版:本ソフトウェアは、Stellar のウェブサイトから無料でダウンロードできるライセンスキーの有無にかかわらず提供されます。本ソフトウェアは、ライセンス期間中、デモ、評価、トレーニングの目的のみ、許可された台数の互換コンピューターにのみインストールし、使用することができます。本ソフトウェアの評価版または試用版は、配布パッケージが変更されない限り、自由に配布することができます。いかなる個人または企業も、著作権者の書面による許可なく、試用版の配布に対して料金を請求することはできません。

3.2 サブスクリプションライセンス:サブスクリプションベースで利用可能な本ソフトウェア(以下「サブスクリプションライセンス」)については、お客様は、ライセンス期間中、許可された台数の互換コンピューターにのみサブスクリプションライセンスをインストールし、使用することができます。サブスクリプションライセンスの許可コンピューター数に従い、お客様は、Stellar がサブスクリプションライセンスに含まれるソフトウェアの種類(特定のコンポーネント、バージョン、プラットフォーム、言語など)をいつでも変更できることに同意し、かかる変更についてお客様に対して一切の責任を負わないものとします。サブスクリプションライセンスへの継続的なアクセスには、ライセンスの有効化、更新、および有効化のための定期的なインターネット接続が必要です。Stellar が定期的なサブスクリプションの支払いを受け取らない場合、またはライセンスを定期的に有効化できない場合、Stellar が支払いを受け取るまで、またはライセンスを有効化するまでの間、追加の通知なしに、本ソフトウェアが無効化されることがあります。

3.3 ライフタイムライセンス:一度登録されると、ユーザーは、ソフトウェアと互換性のある同じ構成およびオペレーティングシステムで同じコンピューター上で最大 10 年間ソフトウェアを使用するための排他的なライセンスを付与されます。ライセンスの有効期間中にコンピューターのハードウェアまたはソフトウェアが変更され、最初に購入したバージョンと互換性がない場合、ユーザーはソフトウェアのアップグレード版を追加購入する必要があります。

4.ソフトウェアのサポート

サポートは、購入日から 1 年間、ライセンスをお持ちのお客様にのみ提供されます。本ソフトウェアのインストールおよび使用に関するお問い合わせは、電子メールにて受け付けております。

ライセンス期間が 1 年を超える場合は、その時点で適用される追加料金をお支払いいただくことで、テクニカルサポートをご利用いただけます。有償サポートはライフタイムライセンスに限り、最長 2 年間までご購入いただけます。

Stellar は、本ソフトウェアの購入から 3 年経過後は、本ソフトウェアに関連するいかなるサポートリクエストに対しても、お客様をサポートすることはありません。

5. 知的財産の所有権

本ソフトウェアおよびお客様が作成する許可された複製物は、Stellar の知的財産であり、Stellar が所有します。本ソフトウェアの構造、構成、ソースコードは、Stellar Information Technology Pvt. Ltd. の貴重な企業秘密および機密情報です。本ソフトウェアは、米国およびその他の国の著作権法を含むがこれに限定されない法律、および国際条約の規定により保護されています。本契約書に明示的に記載されている場合を除き、本契約書は本ソフトウェアの知的財産権をお客様に付与するものではありません。明示的に付与されていないすべての権利は、Stellar が留保します。

6. 制限と要件

6.1 所有権表示。お客様が作成する本ソフトウェアの許可された複製物（ドキュメンテーションを含みますが、これに限定されません）には、本ソフトウェア上または本ソフトウェア内に表示されているのと同じ著作権表示およびその他の所有権表示が含まれていなければなりません。

6.2 使用義務。お客様は、本ソフトウェアを本契約で許可された方法以外で使用しないこと、および本ソフトウェアの設計またはドキュメンテーションと矛盾する方法で本ソフトウェアを使用しないことに同意するものとします。

6.3 改変の禁止。お客様は、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションの修正、翻案、改ざん、翻訳または派生物の作成、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションの一部と他のソフトウェアまたはドキュメンテーションとの結合またはマージ、Stellar と競合する本ソフトウェアと同様の機能属性、視覚的表現またはその他の特徴を有するソフトウェア（ルーチン、スクリプト、コード、またはプログラムを含む）の開発努力の一環として本ソフトウェアを参照またはその他の方法で使用する、

Stellar の書面による事前の許可がある場合を除き、本ソフトウェアに関連する性能テストまたはベンチマークテストまたは分析を公表することはできません；

6.4 リバースエンジニアリングの禁止。お客様は、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、またはその他の方法でソースコードの発見を試みてはならないものとします。

6.5 アンバンドリングの禁止。本ソフトウェアは、様々なアプリケーションおよびコンポーネントを含み、様々な Stellar オンラインチャンネルへのアクセスを可能にし、複数のプラットフォームおよび言語をサポートし、複数のメディアまたは複数のコピーでお客様に提供される場合があります。それにもかかわらず、本ソフトウェアは、本契約で許可されるとおり、コンピューター上で単一の製品として使用されるよう設計され、お客様に提供されます。ドキュメンテーションで別途許可されている場合を除き、お客様は、本ソフトウェアの全構成部分をインストールする必要はありませんが、異なるコンピューター上で使用するために本ソフトウェアの構成部分をアンバンドルしてはなりません。

6.6 顧客は、ソフトウェアまたはドキュメンテーションに印刷もしくは刻印された、または貼付された、またはエンコードもしくは記録された、著作権またはその他の製品識別もしくは所有権に関する表示、シールまたは指示ラベルを削除、消去、不明瞭化もしくは改ざんしないものとします。また、当社が作成するソフトウェアおよびドキュメンテーションのすべてのコピーにおいて、すべての著作権およびその他の所有権に関する表示を保存しないものとします；

6.7 お客様は、クラウド、インターネットベースコンピューティング、または類似のオンデマンドコンピューティング環境において、当社の許諾書または該当する製品権限定義がその使用を明確に許可していない限り、本ソフトウェアを実行または操作しないものとします。

6.8 譲渡の禁止。お客様は、本契約で明示的に許可されている場合を除き、本ソフトウェア（ウェブダウンロードにより取得したソフトウェアを含むがこれに限定されない）に関する権利をレンタル、リース、販売、サブライセンス、譲渡、または移転したり、本ソフトウェアのいかなる部分も他の個人または法人のコンピューターにコピーすることを許可したりしないものとします。

7.著作権／所有権

お客様は、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの知的財産権が、全世界において Stellar に帰属するか、または Stellar にライセンスされていることを認めるものとします。本ソフトウェアにおいてお客様に付与される権利はライセンスされるものであり（販売されるものではありません）、お客様は、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに

ついて、本ライセンスの条件に従って使用する権利以外のいかなる権利も有しません。本ソフトウェア、そのソースコードおよびドキュメンテーションは、Stellar Information Technology Pvt.(以下「Stellar」といいます。)が本ライセンスを提供するために作成したものであり、著作権法およびその他の知的財産権法によって保護されています。

Stellar は、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに関する知的財産権を含む全ての権利、権原、利益を常に保持するものとします。

8.保証

ライセンスされたソフトウェア（配布された媒体を除く）および Stellar に関連する全てのウェブサイトおよびサービスは、ライセンシーに対して「現状有姿」および「利用可能な状態」で提供され、Stellar およびそのサプライヤーおよびライセンサーは、それらの使用または性能に関していかなる保証も行いません。Stellar、そのサプライヤーおよびライセンサーは、ライセンス対象ソフトウェアまたは関連する Stellar ウェブサイトもしくはサービスの品質、可用性、性能もしくは機能性、ライセンス対象ソフトウェアまたは関連する Stellar ウェブサイトもしくはサービスの使用により取得される、または取得可能な情報の品質もしくは正確性を含むがこれらに限定されない事項について、いかなる保証または表明も行いません（制定法、コモンロー、慣習、使用法、その他による明示または黙示を問いません）；但し、ライセンシーの法域において適用される法律により保証が除外または制限されない場合は、その範囲内に限ります。）、第三者の権利の非侵害、商品性、統合性、満足のいく品質、または特定の目的に対する適合性。

9.データ保護

お客様は、ライセンスソフトウェアを使用することにより、Stellar のプライバシーポリシーに従い、お客様に関する特定の情報の収集および使用、ならびにお客様によるライセンスソフトウェアの使用に同意し、これに同意するものとします。さらに、お客様は、Stellar が、ライセンスソフトウェアおよびその機能をお客様に提供する目的で、お客様のアカウントおよびそのアカウントに登録されたデバイスまたはコンピューターに関連する情報を収集、使用、送信、処理および維持することに同意し、これに同意するものとします。また、お客様がライセンスソフトウェアを使用する際に Stellar が収集する情報には、お客様の使用に関する技術的または診断的な情報が含まれることがあり、これらの情報は、Stellar の製品およびサービスのサポート、改善および向上のために Stellar が使用することがあります。詳細については、「<https://www.stellarinfo.com>」のプライバシーポリシーの項をご覧ください。さらに、お客様

は、Stellar、その関連会社、および、またはそれらのサービスプロバイダーによる保管、処理、使用のために、これらの情報が米国、インド、および、またはその他の国に転送される可能性があることを理解し、同意するものとします。お客様は、Stellar、その関連会社、および、またはそのサービスプロバイダーが、かかる機能またはサービスを提供し、改善するために、Stellar、そのパートナー、およびライセンサーがかかる位置情報およびアカウントデータを収集、使用、送信、処理、および維持することに同意し、ここに同意します。

10.インターネット接続とプライバシー

10.1 インターネットへの自動接続。本ソフトウェアは、ライセンス認証、お客様への追加情報、特徴、または機能の提供などの目的で、お客様のコンピューターを予告なく自動的にインターネットに接続させ、Stellar ウェブサイトまたは Stellar ドメインと通信させることがあります。第 10.2 条から第 10.5 条に別段の定めがない限り、以下の規定は、本ソフトウェアによるすべての自動インターネット接続に適用されます：

10.1.1 本ソフトウェアがインターネット接続を行い、Stellar のウェブサイトと通信を行う場合、自動的であるか、ユーザーの明示的な要求によるものかを問わず、プライバシーポリシーが適用されるものとします。Stellar のプライバシーポリシーは、ウェブサイト訪問のトラッキングを許可しており、トラッキング、cookie、ウェブビーコン、および同様のデバイスの使用に関するトピックを詳細に取り上げています。

10.1.2 本ソフトウェアがインターネットを介して Stellar に接続するときは常に、<https://www.stellarinfo.com/> の「プライバシーポリシー」セクションで入手可能な Stellar オンラインプライバシーポリシーに従い、特定のお客様情報が収集され、本ソフトウェアから Stellar に送信されます。

10.1.3 お客様が Stellar オンラインサービスにアクセスする場合、または本ソフトウェアをアクティベートもしくは登録する場合、お客様の ID、ユーザー名、パスワードなどの追加情報が、プライバシーポリシーおよび当該 Stellar オンラインサービスに関連する追加利用規約に従い、Stellar に送信され、Stellar により保存される場合があります。

10.1.4 Stellar は、適用法令により禁止されている場合を除き、(a) Stellar オンラインサービスまたは本ソフトウェアもしくは Stellar オンラインサービスのアクティベーションもしくは登録を容易にするために、お客様にトランザクションメッセージを送信すること、または (b) プラットフォームのバージョン、本ソフトウェアのバージョン、ライセンスの状態、

および言語を含みますがこれらに限定されない情報を使用して、本ソフトウェアおよびその他の Stellar 製品およびサービスに関する情報を提供するために、製品内マーケティングを配信することができます。

10.2 **更新**。(a)コンピューターへのダウンロードおよびコンピューターへのインストールが可能なアップデートをチェックし、(b) インストールの試行結果を Stellar に通知します。

10.3 **アクティベーション**。本ソフトウェアは、(a) Stellar ソフトウェア・アクティベーション・キーの取得、(b) 本ソフトウェアのアクティベーションまたは再アクティベーション、(c) 本ソフトウェアの登録、または (d) 所有権の検証をお客様に要求する場合があります。かかる要求により、インストール時、起動時、およびその後も定期的に、お客様のコンピューターが予告なくインターネットに接続される場合があります。接続されると、本ソフトウェアは情報を収集し、Stellar に送信します。また、本ソフトウェアまたはお客様は、お客様のライセンス、サブスクリプション、または所有権に関連する情報を Stellar から受信する場合があります。Stellar は、有効なライセンス、サブスクリプション、または所有権に従わない不正または不正な使用を検知または防止するために、これらの情報を使用することがあります。本ソフトウェアの有効化もしくは登録、サブスクリプションもしくは所有権の有効化の失敗、または本ソフトウェアの不正もしくは未承認の使用に関する Stellar による判断は、本ソフトウェアの機能低下、操作不能、またはサブスクリプションもしくは所有権の終了もしくは一時停止につながる場合があります。

10.4 **オンラインサービスの使用**。本ソフトウェアは、追加の通知なく、断続的または定期的に、お客様のコンピューターを自動的にインターネットに接続させ、Stellar または第三者が提供するコンテンツおよびサービスへのアクセスを容易にすることがあります。さらに、本ソフトウェアは、お客様がオフラインの状態でもこれらのサービスを直ちに利用できるように、追加通知なしに、自動的にインターネットに接続し、これらのオンラインサービスからダウンロード可能なマテリアルを更新することがあります。

10.5 **デジタル証明書**。本ソフトウェアは、お客様がダウンロードしたファイル（アプリケーションおよび、またはコンテンツなど）およびそれらのファイルの発行者を識別するために、デジタル証明書を使用します。例えば、Stellar は、お客様が Stellar アプリケーションの発行者を識別するために、デジタル証明書を使用します。お客様のコンピューターは、デジタル証明書の検証時にインターネットに接続することができます。

11.責任の制限

いかなる場合においても、Stellar またはそのサプライヤーは、本ソフトウェア製品の使用もしくは使用不能、またはサポートサービスの提供もしくは提供不能に起因する、特別損害、付随的損害、間接的損害、または派生的損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損失を含みますが、これらに限定されません）について、たとえ Stellar がかかる損害の可能性について知らされていたとしても、一切責任を負わないものとします。いかなる場合においても、Stellar の全責任は、お客様が本ソフトウェア製品に対して実際に支払った金額、または 5 米ドルのいずれか高い方の金額を上限とします。

12.終了

お客様が本 EULA に違反し、Stellar からの要請後 30 暦日以内に違反を是正しない場合、Stellar は本 EULA を終了させることができるものとします。その場合、お客様に付与されたすべての権利（本ソフトウェアを使用するためにお客様に付与されたライセンスを含みますが、これに限定されません）は直ちに停止するものとし、本ソフトウェアの使用権も失効するものとします。さらに、本契約が終了した場合、お客様は、ライセンス対象ソフトウェアのすべての複製物を Stellar に返却するか、または、ライセンス対象ソフトウェアのすべての複製物が破棄されたことを書面により確認するものとし、お客様がこれを行わない場合、Stellar は、衡平法上の救済および損害賠償を請求する権利を有するものとします。

13.司法権と法律

13.1 本 EULA は、デリー（インド）州に適用される実体法に準拠し、それに従って解釈されます。デリー（インド）の裁判所のみが、本 EULA の諸条件に起因するあらゆる紛争を受理する管轄権を有するものとし、あなたはデリー（インド）の裁判所にかかる管轄権に同意するものとします。

13.2 本 EULA は、いかなる法域の抵触法の規則、または国際物品売買契約に関する国際連合条約にも準拠せず、その適用は明示的に排除されます。

14.一般

14.1 本ライセンスは、主題に関する当事者間の合意の完全な声明であり、他の、または以前のすべての理解、発注、合意、および取り決めに統合し、それらに優先します。

14.2 保証の排除および責任の制限は、その原因の如何を問わず、本 EULA の終了後も存続するものとします。ただし、この存続は、本 EULA の終了後もライセンスソフトウェアを継続して使用する権利を示唆または創出するものではありません。

14.3 ライセンシーは、適用される輸出管理法、特に該当する場合、米国輸出管理法、規制または規則（以下、総称して「輸出法」といいます）により禁止される方法で、ライセンスソフトウェアをいかなる国にも出荷、移転、または輸出してはならず、ライセンスソフトウェアを使用してはなりません。

14.4 Stellar は、本 EULA によってライセンシーに明示的に付与されていないすべての権利を留保します。すべての権利は、インドおよび、またはその他の国の著作権法に基づき、205, Skipper Corner, 88, Nehru Place, New Delhi, India 110019 に登録事務所を有する Stellar Information Technology Pvt Ltd に留保されます。

14.5 Stellar が本規約において行った約束、義務または表明の受益者は、第三者ではありません。

14.6 お客様による本使用許諾の違反に対する Stellar による権利放棄は、本使用許諾の他の条項または他の条項に対する他の違反または将来の違反に対する Stellar による権利放棄を構成するものでもなく、またこれに寄与するものでもありません。

14.7 本 EULA は、お客様と Stellar との間の完全な合意を構成するものであり、本 EULA は、ライセンス対象ソフトウェアに関する従前または同時期のすべての表明、協議、約束、通信、合意、取決め、広告および了解に優先します。本 EULA は、両当事者およびその承継人ならびに許可された譲受人を拘束し、その利益のために作成されます。

14.8 本 EULA は、Stellar の権限を有する役員によって署名された書面によってのみ、修正、補足または改正することが可能です。

著作権 © Stellar Information Technology Private Limited.無断複写・転載を禁じます。